

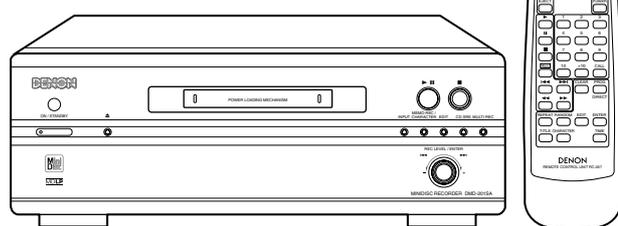
DENON

取扱説明書

DMD-201SA

MINIDISC RECORDER

ミニディスクレコーダー



目次

はじめに	1 使用上のご注意	2~5
	2 取り扱い上のご注意	6
	3 本機の特長	7
	4 付属品について	7
	5 保証とサービスについて	8
接続	6 接続のしかた	8、9
準備	7 各部の名前とはたらき	10~13
	8 リモコンについて	14~16
	9 ミニディスクについて	17、18
操作	10 通常の再生のしかた	19
	11 いろいろな再生のしかた	20~23
	12 録音のしかた	24~27
	13 いろいろな録音のしかた	28~30
	14 グループ機能について	31~36
	15 編集のしかた	37~50
	16 ピックレック機能について	51~53
17 システム機能について	54~59	
その他	18 ミニディスクの規格上の制約について	59
	19 メッセージについて	60
	20 故障かな?と思ったら	61
	21 主な仕様	62

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

1 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグを
コンセントから抜け

内部に異物を入れない

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のご家庭ではご注意ください。

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）

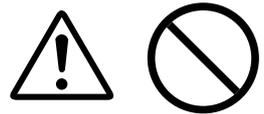
警告 つづき

安全上お守りいただきたいこと

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアドライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。



雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 注意

安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。

万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



指を挟まれないよう注意

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ

湿気やほこりの多いところ

直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 注意 つづき

置き場所について

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうとより効果的です。

なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



2 取り扱い上のご注意

結露現象について

結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。

結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



結露後の処置は

結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1~2時間で使用できるようになります。

設置の際のご注意

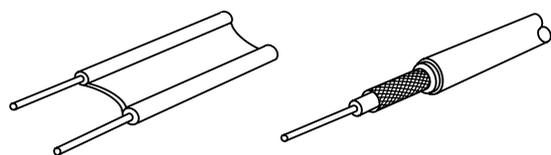
本機やマイクロコンピューターを搭載した電子機器をテレビと同時に使用する場合、テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。

このような場合は次の点に注意してください。

本機をテレビからできるだけ離してください。

テレビのアンテナ線を電源コードおよび接続コード類から離して設置してください。

特に室内アンテナや300 フィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75 同軸ケーブルのご使用をおすすめします。



300 フィーダー線

75 同軸ケーブル

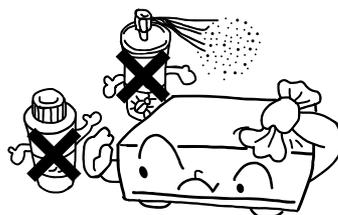
本機の上にテレビ（小型テレビを含む）や置きものなどを載せないでください。

お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れをふきとるときは、柔らかい布を使用して軽くふきとってください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

ふだん使わないとき

必ずミニディスクを取り出してから電源を切ってください。外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



移動させるとき

衝撃を与えないでください。



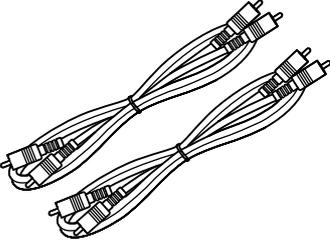
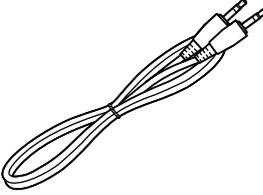
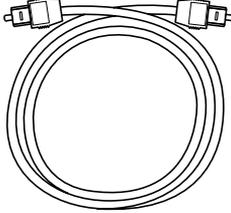
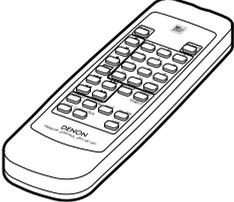
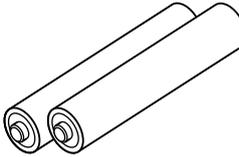
ミニディスクを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、他のオーディオ機器との接続コード類を取り外してから移動させてください。

3 本機の特長

1. クリアな音質
デジタル記録方式の採用により、クリアな再生音が得られます。
2. あらゆるデジタルソースのデジタル録音に対応
『サンプリングレートコンバーター』の搭載により、MDやCDはもちろん、BS放送やDATなどのデジタル信号の音質を劣化させることなく、デジタル録音をおこなうことができます。
デジタル機器を2台まで接続できます。
3. 多彩な編集機能
曲を分ける、つなぐ、移動するなどの編集機能により、録音されたディスクの中身を自在に操作し、ディスク名や曲のタイトルを入力することでオリジナルのディスクを簡単につくることができます。
4. 豊富な再生機能
プログラム再生、ランダム再生、全曲リピート再生、1曲リピート再生などの操作ができます。
5. 便利なシステム機能
PRESTA-201SAシリーズとシステムコードで接続して使用すると、CDシンクロ録音、オートファンクション、オートパワーオンなどの操作が簡単にできるシステム機能を装備しています。また、プリメインアンプ（PMA-201SA）に付属のシステムリモコン（RC-906）では、各システムユニットの主な操作をおこなうことができます。
6. MDLP（MD LONG PLAY）対応
MDLPフォーマット対応により、通常録音/再生時間の2倍長または4倍長のステレオ録音/再生ができます。
ご注意：MDLPフォーマットで録音された曲は、MDLP非対応機器では正常に動作しません。
7. 低待機電力
電源スタンバイ時の待機電力を1W以下に低減しました。

4 付属品について

本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用前にご確認ください。

ステレオ音声コード  2本	システムコード  1本	光接続コード  1本
リモコン（RC-267）  1個	単3形乾電池  2本	取扱説明書（本書） 1冊
		製品のご相談と修理・ サービス一覧表 1枚
		保証書 （梱包箱に貼り付けられています）

ご注意

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

5 保証とサービスについて

- ① この商品には保証書が添付されております。保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。詳しくは保証書をご覧ください。修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- ③ 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- ④ 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- ⑤ 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- ⑥ 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音や再生などの機会を逸したために発生した損害などの付随的な損害の補償については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

6 接続のしかた

PRESTA-201SAシリーズに接続する

『システム接続』

PRESTA-201SAシリーズ以外のプリメインアンプと接続する場合は、3の接続をおこなう必要はありません。この場合、オートパワーオン機能などすべてのシステム機能は動作しません。各ユニット間のすべてのステレオ音声コードおよびシステムコードを接続しないと、オートパワーオン機能などのシステム動作がおこなわれません。各ユニット間のすべての接続コードは確実に接続してください。動作中にシステムコードを抜くと誤動作の原因になりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後で接続の変更をおこなってください。プリメインアンプ(PMA-201SA)の通風孔をふさがないように配置してください。

ご注意

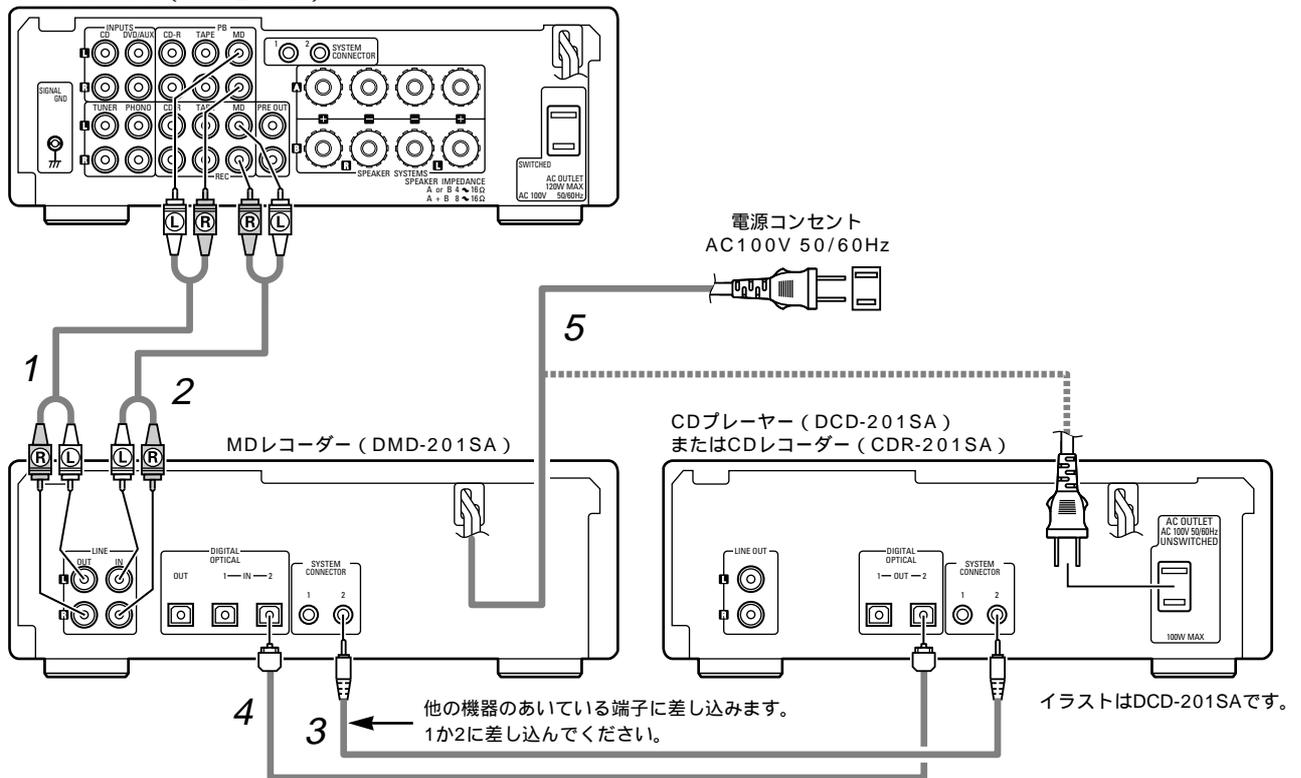
すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。電源コードと接続コード類を一緒に束ねると、ハムや雑音の原因になることがあります。一度電源プラグをコンセントから抜いた場合は、約5秒程度経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。

- | | |
|---|--|
| 1 | 本機に付属のステレオ音声コードで、本機のライン出力端子(LINE OUT)とプリメインアンプの入力端子(PB MD)を接続します。 |
| 2 | 本機に付属のステレオ音声コードで、本機のライン入力端子(LINE IN)とプリメインアンプの出力端子(REC MD)を接続します。 |
| 3 | 本機に付属のシステムコードで、本機のシステム端子(SYSTEM CONNECTOR 1または2)と他の機器のシステム端子(SYSTEM CONNECTOR 1または2)を接続します。 |
| 4 | 本機に付属の光接続コードで、本機のデジタル入力端子(DIGITAL OPTICAL IN 1または2)とCDプレーヤーまたはCDレコーダーのデジタル出力端子(DIGITAL OPTICAL OUT)を接続します。 |
| 5 | 本機の電源プラグを壁の電源コンセントまたはPRESTA-201SAシリーズのコンセント(AC OUTLET)に差し込みます。 |

PRESTA-201SAシリーズ以外のプリメインアンプと接続しても使用することができます。この場合、オートパワーオン機能などすべてのシステム機能ははたきません。

接続のしかた (つづき)

プリメインアンプ (PMA-201SA)



PRESTA-201SAシリーズの全ユニットのシステム接続のしかたは、PMA-201SAの取扱説明書をご覧ください。

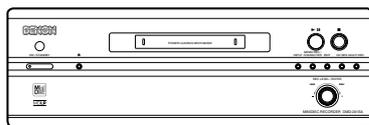
推奨システムセッティングについて

PRESTA-201SAシリーズでのシステムセッティングは性能・安定性を確保するため下記のようにおこなってください。

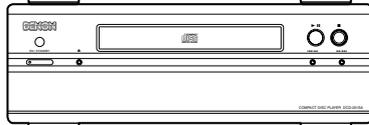
ご注意

プリメインアンプ (PMA-201SA) の上に他の機器を直接重ねないでください。放熱のため、通風孔をふさがないように10cm以上離してください。
安全性確保のため、機器の積み重ねは3段までにしてください。

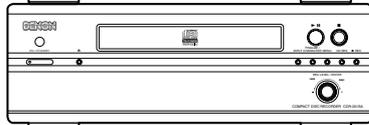
(DMD-201SA)



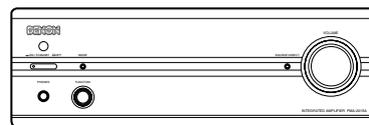
(DCD-201SA)



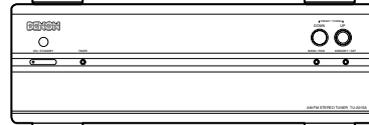
(CDR-201SA)



(PMA-201SA)



(TU-201SA)



(DRR-201SA)



ステレオ音のエチケット



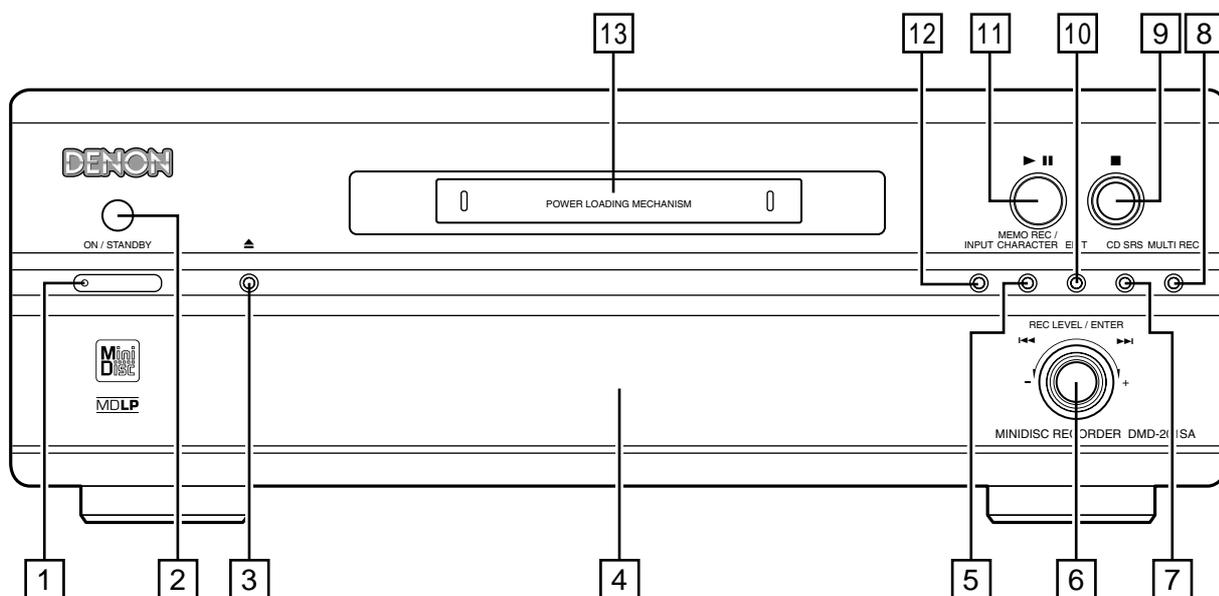
音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮 (おもいやり) を十分にいたしましょう。
ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

7 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル



1 電源ボタン (ON/STANDBY)

押すと電源が入り、もう一度押すと電源がスタンバイ状態になります。

インジケータの色は状態によって次のように変わります。

電源ON時 : 緑色

スタンバイ時 : 赤色

編集をおこなった後に押すと、TOCの書き込みがおこなわれます。

2 リモコン受光部

付属のリモコン (RC-267) をこの受光部に向けて操作してください。

本機をPRESTA-201SAシリーズとシステム接続しているときは、プリメインアンプ (PMA-201SA) に付属のリモコンをPMA-201SAのリモコン受光部に向けて操作してください。

3 イジェクトボタン (▲)

ディスクを取り出すときに押します。

編集をおこなった場合には、ディスクを取り出すときと同時にTOCの書き込みがおこなわれます。

4 ディスプレイ

13ページを参照してください。

5 メモリー録音/キャラクターボタン (MEMO REC/CHARACTER)

(MEMO REC/CHARACTER)

録音一時停止状態のとき、このボタンを押すとメモリー録音をおこないます。(メモリー録音ボタン)(29ページ参照)

タイトルを入力するとき、英字の大文字/小文字、特殊文字またはカタカナ文字に切り替えるときに押します。(キャラクターボタン)

6 ジョグダイヤル/エンターボタン (◀▶ / REC LEVEL/ENTER)

(◀▶ / REC LEVEL/ENTER)

曲の頭出しや編集操作をおこなうときに使用します。

タイトルを入力するときは、入力する文字を選択できます。

録音一時停止状態のとき、または録音中に回すと入力信号の録音レベル(音量)を選択できます。(24~26ページ参照)

編集操作を確定するときに押します。

(エンターボタン)

7 CDシンクロ録音ボタン (CD SRS)

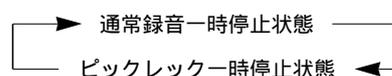
PRESTA-201SAシリーズとシステム接続をしているとき、ワンタッチでCDの録音をおこなうときに押します。(55ページ参照)

8 録音ボタン (MULTI REC)

録音するときに押します。

(24~26、51ページ参照)

このボタンを押すたびに、録音モードが次のように切り替わります。



各録音一時停止状態のときに、プレイ/ポーズボタン (▶/||) を押すと録音をはじめます。

9 ストップボタン (■)

再生または録音を停止するとき、および編集操作を取り消すときに押します。

録音または編集をおこなった後に押すと、TOCの書き込みがおこなわれます。

各部の名前とはたらき (つづき)

10 エディットボタン (EDIT)

ディスク名や曲名のタイトル入力、曲の消去/分割/結合/移動の編集操作をおこなうとき、またはタイトル入力を確定するときに押します。長時間録音 (MDLP録音) をおこなう場合のモードを設定するときに押します。グループ編集をするときに押します。

11 プレイ/ポーズボタン (▶ ||)

ディスクの再生または録音をはじめるときに押します。再生中または録音中に押すと一時停止します。

12 入力切り替えボタン (INPUT)

入力ソースを切り替えるときに押します。
(24、26ページ参照)

このボタンを押すたびに、入力モードが次のように切り替わります。



録音中は切り替えられません。録音一時停止中または停止中に切り替えてください。

13 ディスク挿入口

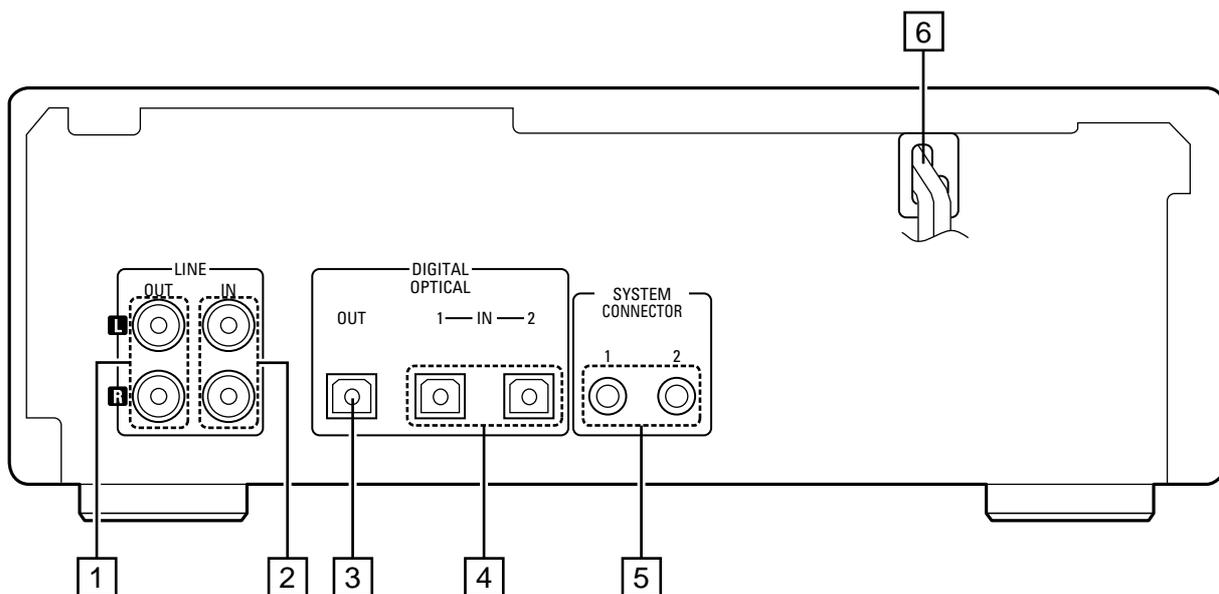
ディスクを差し込むと自動的に引き込みます。ディスクは正しい方向に差し込んでください。

ディスクを取り出すときのご注意

イジェクトボタン (▲) を押した後、ディスクが出てくる途中でディスクを押し戻さないでください。

再びディスクを装填するときは、出てくるディスクの動きが止まってから押し込んでください。

(2) リアパネル



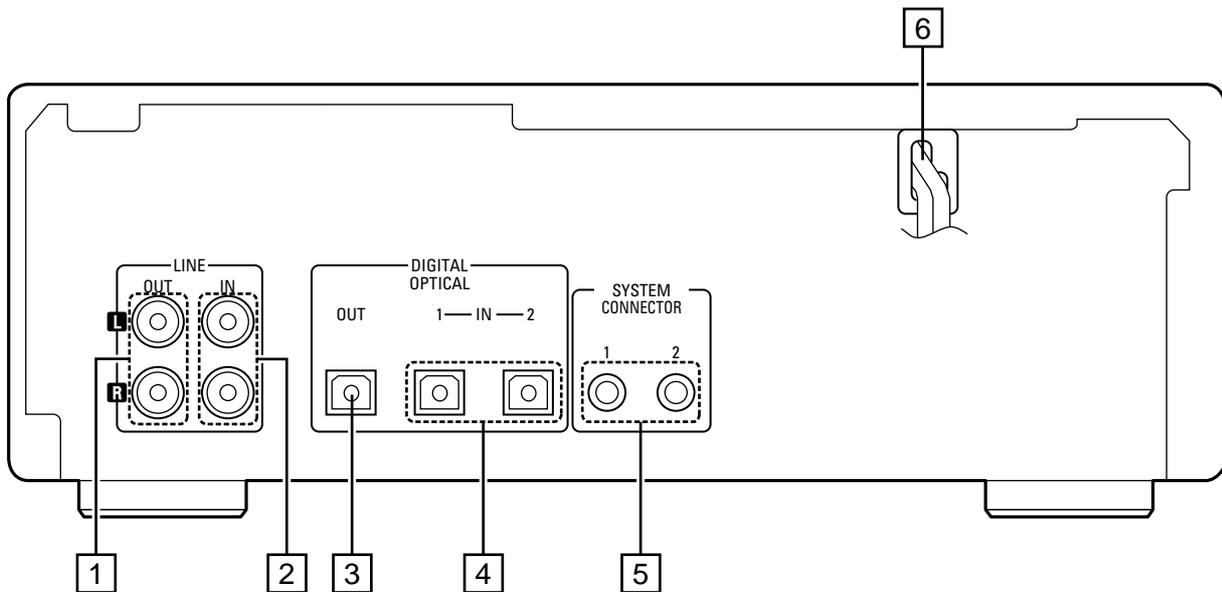
1 出力端子 (LINE OUT)

プリメインアンプなどの入力端子に接続します。PRESTA-201SAシリーズとシステム接続して使用する場合は必ず、プリメインアンプ (PMA-201SA) の入力端子 (PB MD) に接続してください。

2 入力端子 (LINE IN)

プリメインアンプなどの出力端子に接続します。PRESTA-201SAシリーズとシステム接続して使用する場合は必ず、プリメインアンプ (PMA-201SA) の出力端子 (REC MD) に接続してください。

各部の名前とはたらき (つづき)



③ デジタル出力端子

(DIGITAL OPTICAL OUT)

デジタルデータを光で出力します。

市販のデジタルプロセッサまたはD/Aユニットなど外部機器のデジタル入力端子 (OPTICAL IN) に接続します。

デジタル入出力端子への接続は付属の光接続コード、または市販のデジタルオーディオ機器用の角型光接続コードをご使用ください。

④ デジタル入力端子

(DIGITAL OPTICAL IN 1, 2)

デジタルデータを光で入力します。

CDプレーヤー、BS放送チューナー、CS放送チューナー、DATデッキまたは本機以外のMDレコーダーなどのデジタル出力端子 (OPTICAL OUT) に接続すると、これらの機器の音声をデジタル録音することができます。この場合、入力切り替えボタン (INPUT) で『Optical-1』または『Optical-2』に切り替えてください。

⑤ システム端子

(SYSTEM CONNECTOR 1, 2)

PRESTA-201SAシリーズと組み合わせて使用するとき、付属のシステムコードで接続します。

⑥ 電源コード

壁の電源コンセントなどに差し込んでください。PRESTA-201SAシリーズと組み合わせて使用するとき、プリメインアンプ (PMA-201SA) またはPRESTA-201SAシリーズ各機器のACアウトレット (AC OUTLET) に接続してください。

ご注意

電源プラグをコンセントから抜いたときでも、録音された目次情報 (TOC) を記憶するために本機ではバックアップ機能が自動的にはたります。このバックアップ期間は2、3日となっていますので、録音後はすぐにディスクを取り出すか、電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にしてください。(TOCが書き込まれます。)

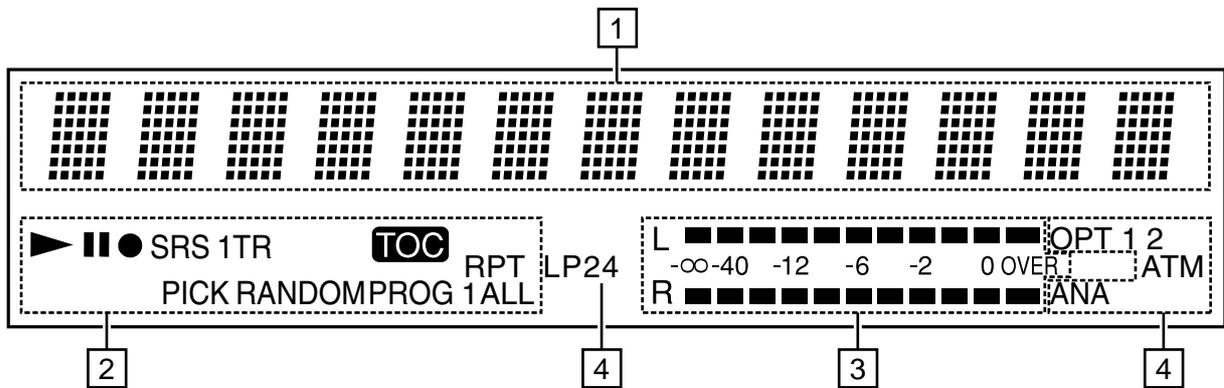
編集された目次情報 (TOC) についてはバックアップ機能ははたしませんので、編集終了後は次の操作をおこなってください。

1. ストップボタン (■) を押してTOCを記録させる。
2. ディスクを取り出す。
3. 電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。

TOCの書き込みがおこなわれずにバックアップが切れた場合は録音や編集された内容が消失され、回復できません。(17ページ参照)

各部の名前とはたらき (つづき)

(3) ディスプレイ



1 マルチ表示部

曲数、曲番、再生時間、タイトル、各種動作内容、メッセージなどが表示されます。

2 各種モード表示部

各種モードの状態を表示します。

- ▶ : 再生中に点灯します。
また、再生中のマニュアルサーチ時には点滅します。
- || : 一時停止中に点灯します。
また、一時停止中のマニュアルサーチ時には点滅します。
- : 録音中、または録音一時停止中に点灯します。

SRS/SRS 1TR :

DCD-201SAとのCDシンクロ録音中に点灯します。

TOC :

録音、消去およびタイトル入力などの編集操作がおこなわれ、ミニディスクの内容が変更されているときに点灯します。

PICK :

ピッキング中に点灯します。

RANDOM :

ランダム再生のときに点灯します。

PROG :

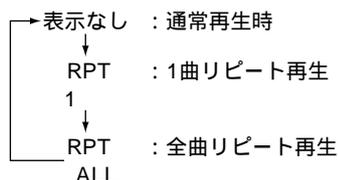
プログラム選曲およびプログラム再生のときに点灯します。

RPT :

リピートボタンを押すたびに、次のように点灯します。



(リモコン)



3 レベルメーター表示部

再生のときは再生レベル、録音のときは録音レベルが表示されます。

4 各種モード表示部

各種モードの状態を表示します。

OPT1 :

デジタル入力1 (DIGITAL OPTICAL IN 1) を選択しているときに点灯します。

録音動作中に点滅したときは正常に録音できません。デジタル入力端子の接続を確認してください。

OPT2 :

デジタル入力2 (DIGITAL OPTICAL IN 2) を選択しているときに点灯します。

録音動作中に点滅したときは正常に録音できません。デジタル入力端子の接続を確認してください。

ANA :

アナログ入力 (LINE IN) を選択しているときに点灯します。

ATM :

アナログ録音時、ATM onに設定されているときに点灯します。

デジタル録音時に点灯します。

LP2 :

MDLP録音でLP2録音モード (録音時間が通常の2倍) を選択しているときに点灯します。

LP4 :

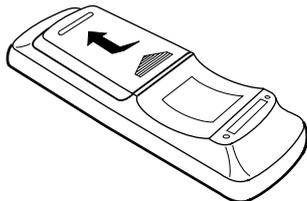
MDLP録音でLP4録音モード (録音時間が通常の4倍) を選択しているときに点灯します。

8 リモコンについて

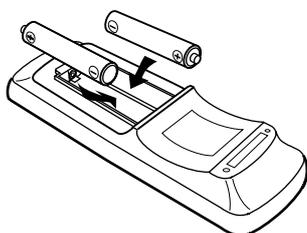
付属のリモコン (RC-267) を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

(1) 乾電池の入れかた (RC-267)

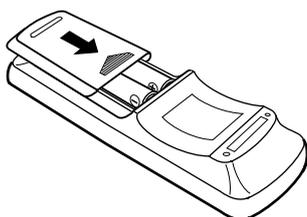
リモコンの裏ぶたを外してください。



単3形乾電池 (2本) をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。



裏ぶたを元通りにしてください。



乾電池についてのご注意

リモコンには単3形乾電池をご使用ください。リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。1年経っていても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。(付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。)

乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。

破損・液漏れの恐れがありますので、

新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。

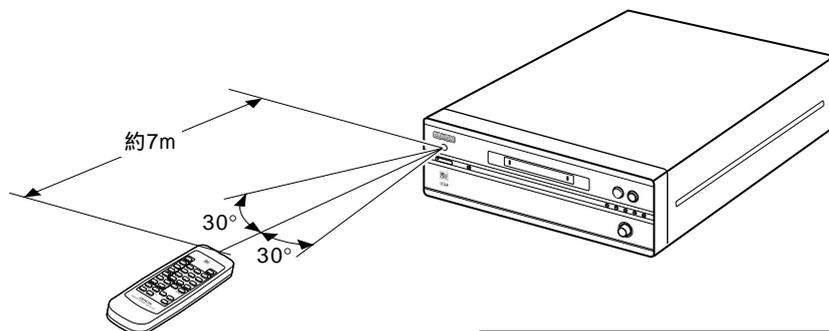
乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。

リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

乾電池を交換するときは予め交換用の乾電池を用意し、できるだけ速やかに交換してください。

(2) リモコンの使いかた (RC-267)



リモコンは図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。

直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。

リモコン受光部を基準にして左右約30°までの範囲で操作できます。

ご注意

リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていたり、リモコン受光部との間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。

本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

リモコンについて(つづき)

(3) リモコンボタンの名前とはたらき (RC-267)

特に説明のないボタンは、本体と同じはたらきをします。

プレイボタン (▶)
再生、録音をはじめるときに押します。(19、23、26ページ参照)

ポーズボタン (⏸)
再生、録音を一時停止にするときに押します。(20、28ページ参照)

ストップボタン (■)

録音ボタン (REC)
本体のMULTI RECボタンと同じはたらきをします。

オートマチックサーチ・リバーズボタン (◀◀)
曲の頭出しをするときに押します。(20ページ参照)

オートマチックサーチ・フォワードボタン (▶▶)
曲の頭出しをするときに押します。(20ページ参照)

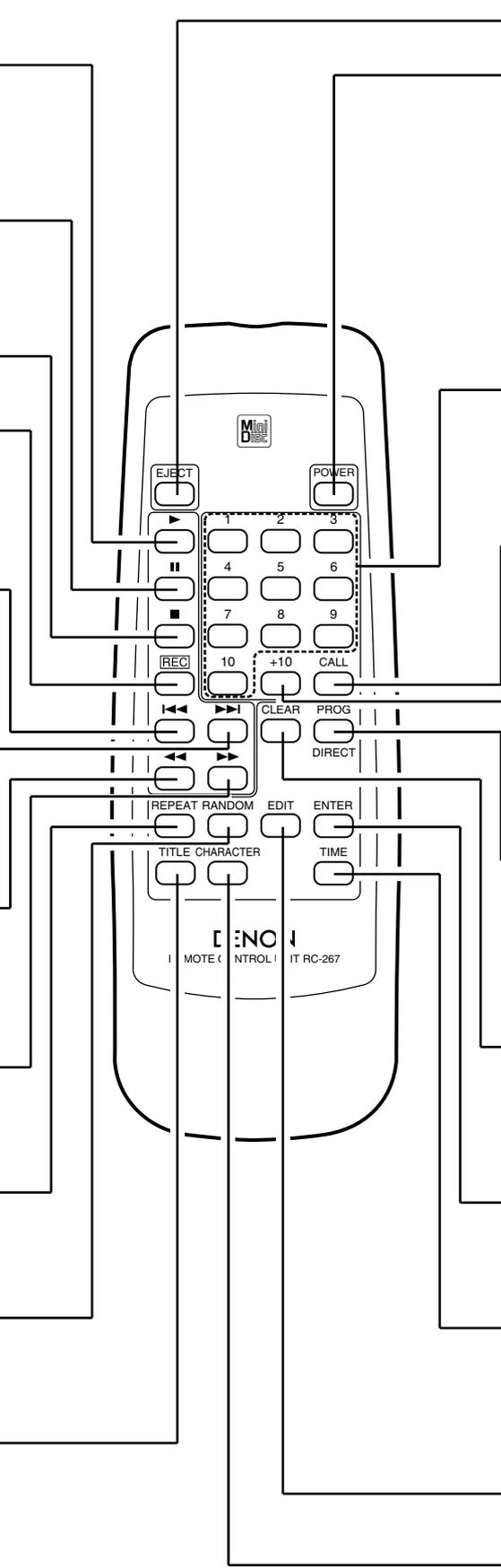
マニュアルサーチ・リバーズボタン (◀◀)
早戻しをするときに押します。(21ページ参照)

マニュアルサーチ・フォワードボタン (▶▶)
早送りをするときに押します。(21ページ参照)

リピートボタン (REPEAT)
リピート再生をおこなうときに押します。(23ページ参照)

ランダムボタン (RANDOM)
ランダム再生をおこなうときに押します。(22ページ参照)

タイトルボタン (TITLE)
時間表示をタイトル表示に切り替えるときに押します。(時間表示へ戻す場合はタイムボタンを押してください。)



イジェクトボタン (EJECT)

電源ボタン (POWER)

ご注意
本機をPRESTA-2015Aシリーズとシステム接続をして使用するときには、このリモコンの電源ボタンで本機の電源ON/STANDBY操作はできません。

テンキー (1~10)
ダイレクト選曲およびプログラム選曲をおこなうときに押します。

コールボタン (CALL)
プログラムされた内容を確認するときに押します。(22ページ参照)

+10ボタン (+10)
11以上の曲を選択するときに押します。

プログラム/ダイレクトボタン (PROG/DIRECT)
プログラム再生とダイレクト再生を切り替えるときに押します。(通常はダイレクト再生モードに設定されています。)

クリアーボタン (CLEAR)
プログラムされた曲や入力中のタイトル文字を取り消すときに押します。

エンターボタン (ENTER)
編集操作を確定するときに押します。

タイムボタン (TIME)
再生中の曲の残り時間表示、または録音中に録音可能時間表示に切り替えるときに押します。

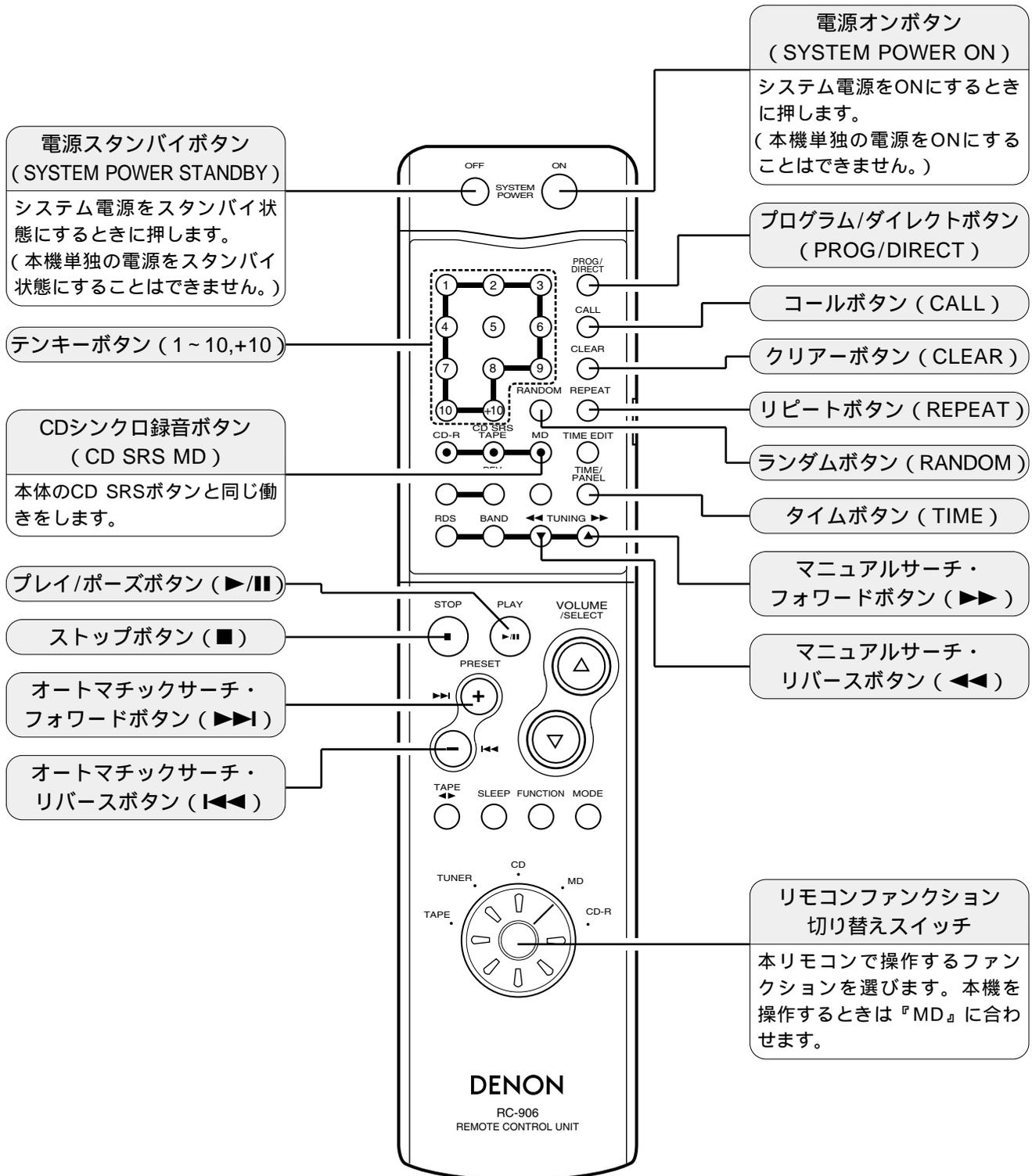
エディットボタン (EDIT)

キャラクターボタン (CHARACTER)

リモコンについて(つづき)

(4) システムリモコンボタンの名前とはたらき (RC-906 : PMA-201SAに付属)

プリメインアンプ (PMA-201SA) に付属のシステムリモコンのMD関連ボタンについて説明します。
特に説明のないボタンは、本体または本機に付属のリモコン (RC-267) と同じはたらきをします。



上記で説明していないボタンは、DMD-201SAで操作できません。

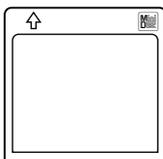
9 ミニディスクについて

ミニディスクはコンパクトなサイズで、通常モード時で最大80分、MDLPモード（長時間モード）時で最大320分の再生/録音ができます。ミニディスクには、再生専用ミニディスクと録音用ミニディスクがあります。本機で再生/録音できるミニディスクは右のマークがついているものです。



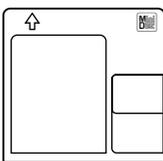
再生専用ミニディスク

再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプです。再生専用ミニディスクはコンパクトディスク（CD）と同じ光ディスクです。曲の編集などはおこなえません。



録音用ミニディスク

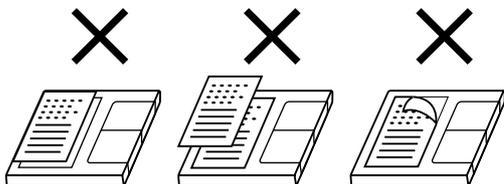
再生/録音が可能なミニディスクで光磁気ディスクを使用しており、磁界変調方式で録音をおこないます。書き替えも可能です。



取り扱いについて

ミニディスクはカートリッジの中にディスクが収納されているため、汚れや傷を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。しかし、カートリッジの汚れやソリなどが誤動作の原因になることもあります。次のことに注意してください。

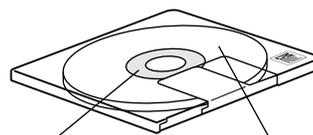
- ディスク面に直接触れないでください。
- シャッターを手で開けないでください。
- ホコリやチリ、湿気の多いところには置かないでください。
- 直射日光が当たるところなど温度の高いところには置かないでください。
- カートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
- 正しく貼り付けないと、ミニディスクが内部につまって取り出せなくなることがあります。



ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けしないでください。）ラベルを重ねて貼り付けしないでください。ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り替えて使用してください。

ミニディスクの書き込みについて

ミニディスクには曲や音声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。



曲番や曲名などを記録する部分（TOC）

曲や音声を録音する部分

トック TOCとは

ミニディスクには曲や音声とともに曲番、曲名や録音場所など曲を認識するための目次情報（TOC：Table of Contents）が記録されます。再生するときはこのTOCを手がかりにします。また、曲の編集はTOCを書き替えることによっておこなわれます。

TOCは次のときに記録されます。

録音を停止したとき

MDを取り出したとき

電源ボタンを押してスタンバイ状態にしたとき
停止状態でストップボタン（■）を押し、TOC書き込み動作をおこなったとき

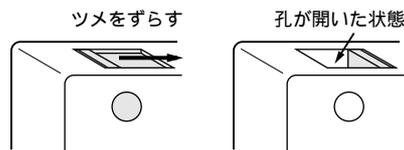
書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅します。このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。TOCが正しく書き込まれずに、録音や編集した内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

誤録音/誤消去防止ツメについて

録音用ミニディスクには誤録音や誤消去を防止するためのツメがついています。

録音した内容を誤って消さないために、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を開けた状態にしてください。（下図参照）この状態にすることで録音や消去などの編集ができなくなり、録音内容を保護することができます。

再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。（下図参照）



ツメをずらす

孔が開いた状態

お手入れについて

カートリッジの汚れやホコリなどは無理な力を加えないで乾いた布で拭き取ってください。

ミニディスクについて(つづき)

曲番について

ミニディスクに曲や音声を録音すると、自動的に曲番がつけられます。追加録音したときは順に曲番が上がります。

デジタル入力でCDやミニディスクを録音したとき

CDやミニディスクについている曲番と同じところに、1曲ごとの曲番が自動的につきます。

CDからミニディスクに録音したとき、CDの曲番と録音されたミニディスクの曲番が一致しないことがあります。

BS/CSチューナー、DATデッキなどのデジタル機器ではこの機能ははたらきません。アナログ入力で録音したときと同様にオートトラックマーク機能がはたらき、曲番を付けます。

BS/CSチューナー、DATなどをデジタル接続で録音するとき、

曲間の無音部分の雑音が大きいときには、曲番が正しく記録できないことがあります。

また、曲中の信号レベルが極めて低いときに、曲番を記録することがあります。

のようなときは、録音が終わった後で編集操作をおこなってください。

DATデッキやBS放送をデジタル入力で録音するとき、録音中にDATデッキやBS放送のモード(サンプリング周波数)が切り替わると、曲番が変わります。また、まれに雑音が録音されることもあります。このようなときは、録音が終わった後で編集操作をおこなってください。(41、42ページ参照)

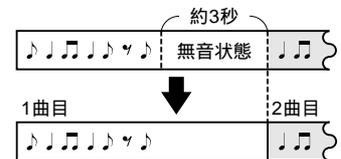


アナログ入力でCDやミニディスクを録音したとき

“ATM”表示が点灯の場合には、3秒以上の無音部分を曲間として、曲番が自動的につきます。(オートトラックマーク機能)

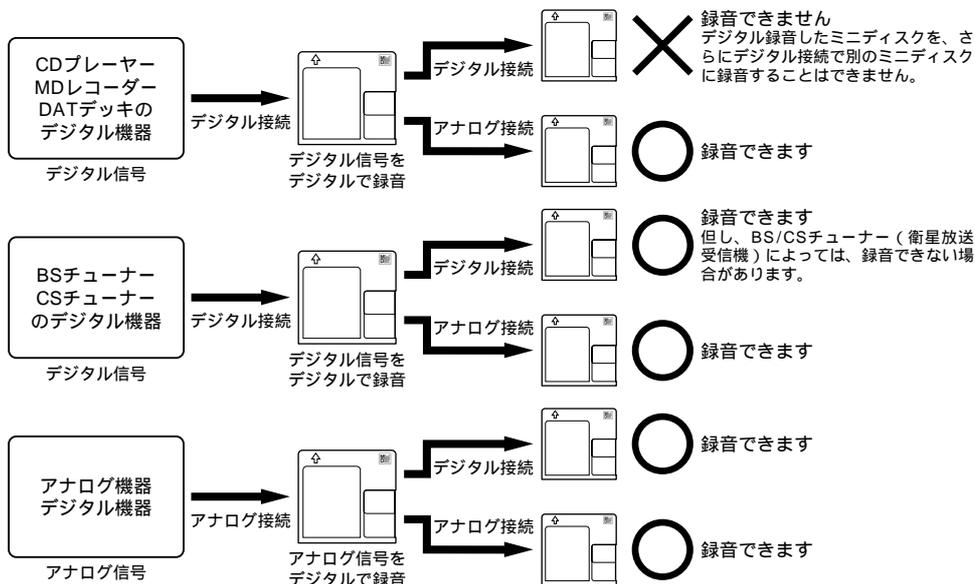
ATMを切り替える場合には、25ページの「オートトラックマーク(ATM)の設定」を参照してください。

信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては正しい位置に曲番がつかないこともあります。



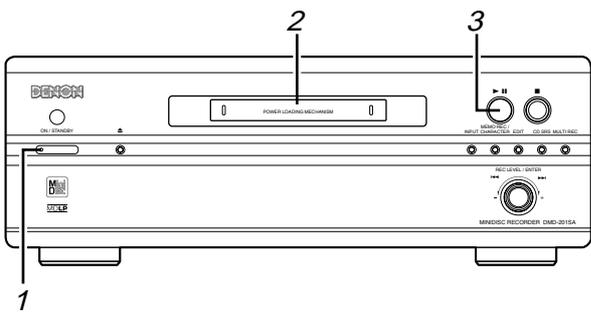
デジタルコピーについて

デジタル入力でCDなどを録音したミニディスクを、さらに別のミニディスクやDATなどにデジタル録音(コピー)することはできません。これは、SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)により定められた規格です。



10 通常の再生のしかた

(1) 再生のはじめかた



1 電源を入れます。

ON / STANDBY

2 再生用のディスクを入れます。
 ディスクを入れるときは、ディスク上面の矢印の向きに従ってディスク挿入口に差し込んでください。ディスクは自動的に引き込まれます。

Disc Set

↓

TOC Reading

↓

ディスク名

Live

ディスク名が入力されていない場合、ディスク名は表示されません。

収録曲数 ↓ 収録時間

12n 62m 03s

3 プレイ/ポーズボタンを押します。
 再生をはじめます。

曲名

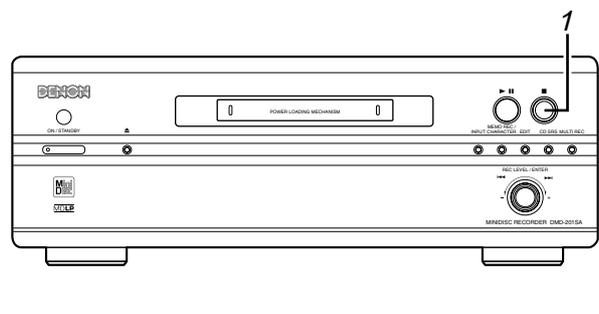
Opening

曲名が入力されていない場合、曲名は表示されません。

再生中の曲番 ↓ 曲の経過時間

01n 05m 28s

(2) 再生の止めかた



1 再生中にストップボタンを押します。
 再生が停止します。

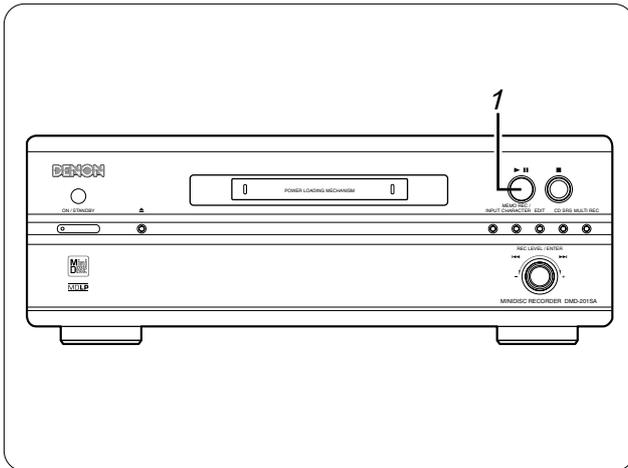
また、ディスクに収録されている最終曲の再生が終わると、自動的に停止します。

11 いろいろな再生のしかた

(1) 再生途中で一時的に止めておくとき

『ポーズ』

再生の途中で一時再生を止め、再びその位置から聞くことができます。



再生中にプレイ/ポーズボタンを押します。

再生が一時停止します。

一時停止中にもう1度プレイ/ポーズボタンを押すと再生をはじめます。



1

再生中にプレイ/ポーズボタンを押す。
一時停止します。



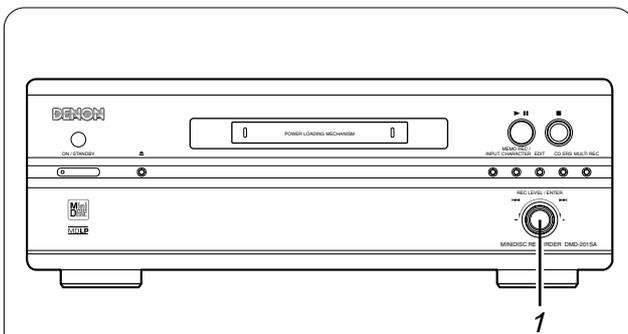
(一時停止)

一時停止中にプレイ/ポーズボタンを押す。
再生をはじめます。

(2) 再生途中で曲の頭出しをするとき

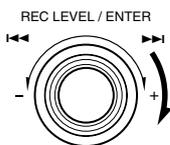
『オートマチックサーチ』

1 次の曲の頭出し



ジョグダイヤルを右 (Ω) に回します。

さらにジョグダイヤルを右 (Ω) に回すと、次々と後ろの曲の頭出しをおこなうことができます。

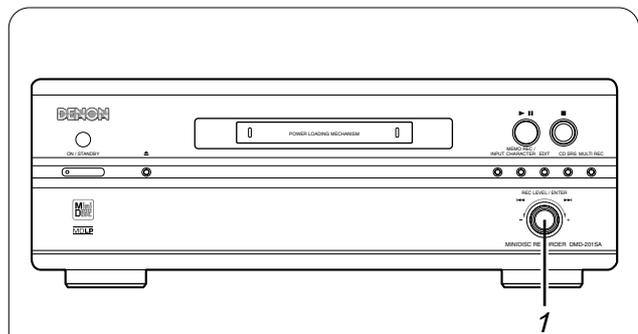


1

ジョグダイヤルを右 (Ω) に回す。

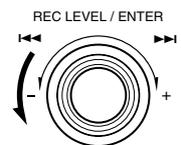


2 聞いている曲の頭出し



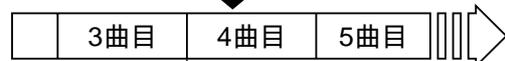
ジョグダイヤルを左 (Ω) に回します。

さらにジョグダイヤルを左 (Ω) に回すと、次々と前の曲の頭出しをおこなうことができます。



1

ジョグダイヤルを左 (Ω) に回す。

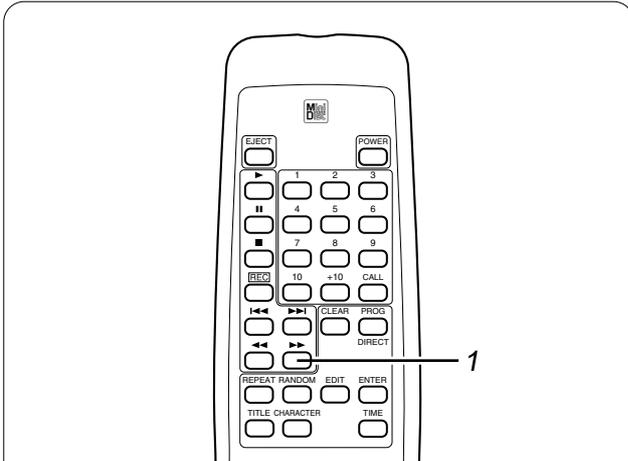


いろいろな再生のしかた(つづき)

(3) 早聞きしながら好きな部分を探すとき(リモコンのみ) 『マニュアルサーチ』

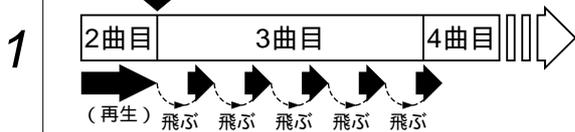
飛び飛びに早聞きすることができます。
長い曲の中から好きな部分を探して、途中から聞くとときに便利です。

1 早送りするとき



再生中に▶▶ボタンを押し続けます。
ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

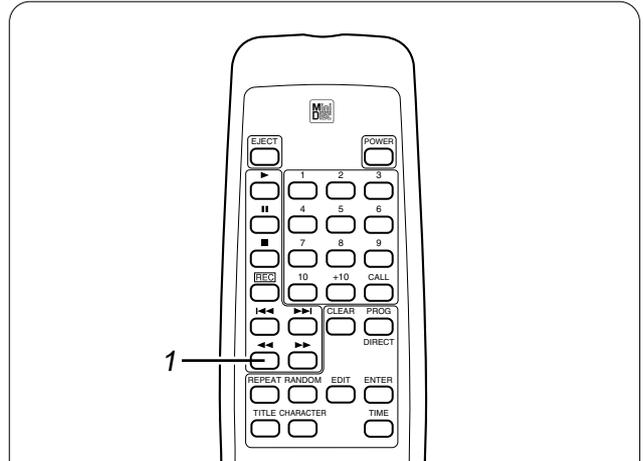
▶▶ボタンを押し続ける。



ボタンを押し続けて、収録されている最終曲の再生が終わると自動的に停止します。

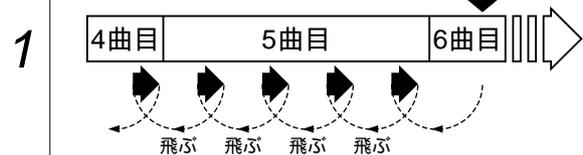
音を聞かずに高速早送りをおこなうときは、一時停止中にリモコンの▶▶ボタンを押し続けてください。

2 早戻しするとき



再生中に◀◀ボタンを押し続けます。
ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

◀◀ボタンを押し続ける。



ボタンを押し続けて、収録されている最初の曲の頭まで戻るとマニュアルサーチは終了して再生をはじめます。

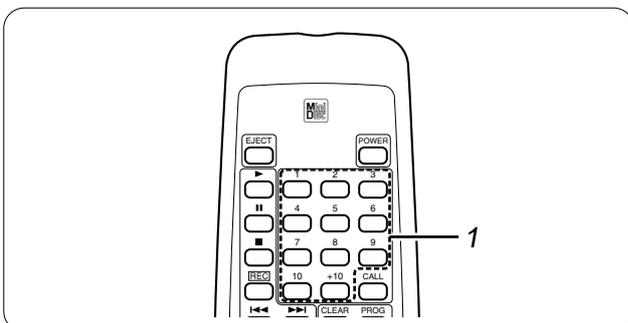
音を聞かずに高速早戻しをおこなうときは、一時停止中にリモコンの◀◀ボタンを押し続けてください。

ご注意

マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに若干音が途切れることがありますが故障ではありません。

(4) 好きな曲を聞くととき(リモコンのみ)

『ダイレクト再生』



テンキーまたは+10ボタンを押して、聞きたい曲番を選びます。

1

【例】4曲目を聞きたいとき :

12曲目を聞きたいとき :

30曲目を聞きたいとき :

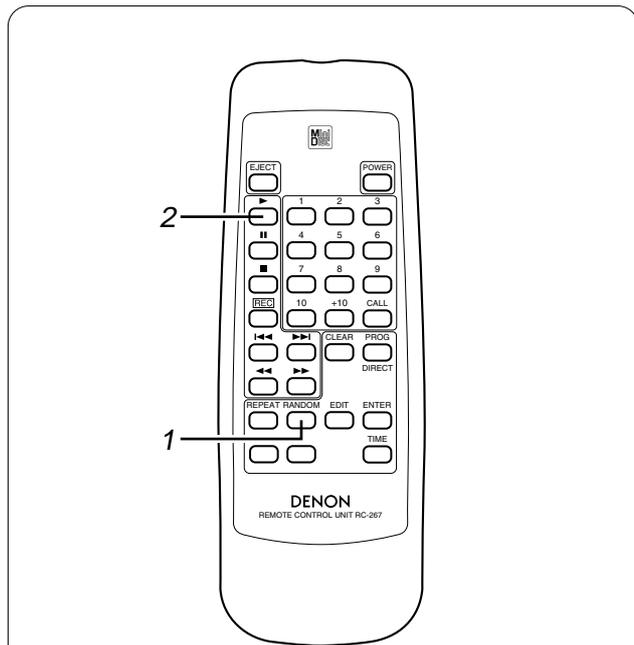
と押してください。その曲から再生をはじめます。

いろいろな再生のしかた(つづき)

(5) 順不同に聞くととき

(リモコンのみ)『ランダム再生』

ディスクに収録されている曲をランダム(無作為)な順序で1回づつ聞くことができます。



- 1 停止中にランダムボタンを押します。
“RANDOM”表示が点灯します。

 - 2 プレイボタンを押します。
ディスクに収録されている曲番が高速でくり返し表示され、自動的に選曲して再生をはじめます。

- ランダム再生を止めるときは、停止させてからもう一度ランダムボタンを押してください。

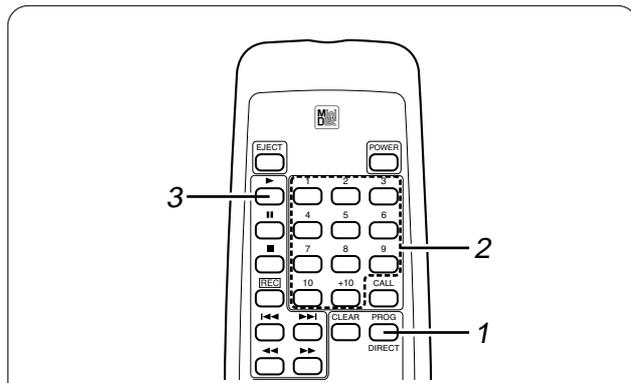

ご注意

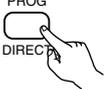
ランダム再生中に1曲リピート再生はできません。
ランダム再生中にリモコンのリピートボタンを押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。以後毎回違った曲順でランダム再生が楽しめます。

(6) 聞きたい曲を好きな順番に聞くととき

(リモコンのみ)『トラックプログラム再生』

ディスクに収録されている曲の中から聞きたい曲を選び、好きな順番に聞くことができます。
最大25曲までプログラムすることができます。



- 1 停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押して“Track Program”を表示させます。
“PROG”表示が点灯します。
“ ”が表示
(全トラック数)(ディスクの収録時間)
されます。

- 2 テンキーまたは+10ボタンを押して、プログラムしたい曲番を選びます。
例えば、3曲目、12曲目、7曲目とプログラムしたい場合は、[3],[+10],[2],[7]と押してください。
- 3 プレイボタンを押します。
プログラムされた順に再生します。


プログラム内容を確認するときは、コールボタンを押してください。1回押すたびにプログラムされた内容が順次表示されます。
プログラム内容を変更するときは、停止中にクリアーボタンを押してください。1回押すたびに、プログラムされた最後の曲から順次消されます。もう一度テンキーまたは+10ボタンを押すと、続けてプログラムされます。
プログラム内容をすべて取り消すときは、停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押してください。




ご注意

プログラム再生中、ダイレクト選曲はできません。
プログラム再生中に1曲リピート再生はできません。
プログラム再生中にリモコンのリピートボタンを押すとプログラムされた順に再生をくり返します。
プログラム設定中に総再生時間が999分以上になると正しい時間表示はできませんが、プログラムすることはできます。

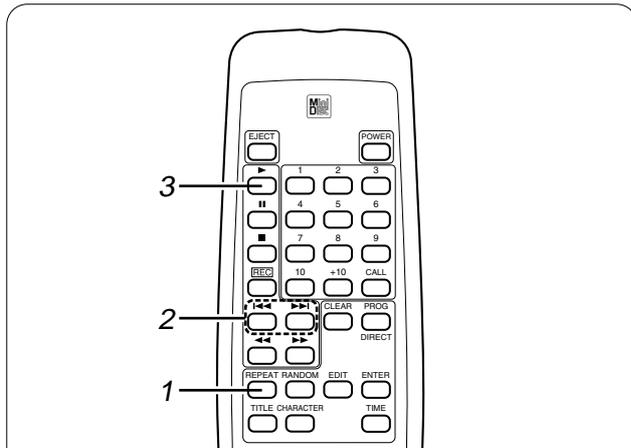
いろいろな再生のしかた(つづき)

(7) くり返して聞くととき (リモコンのみ)

『リピート再生』

1 1曲のみをくり返して聞くととき

『1曲リピート再生』



1 リピートボタンを1回押します。
“ RPT ”
1 “ ”表示が点灯します。

2 オートマチックサーチボタンを押して聞きたい曲番を選びます。

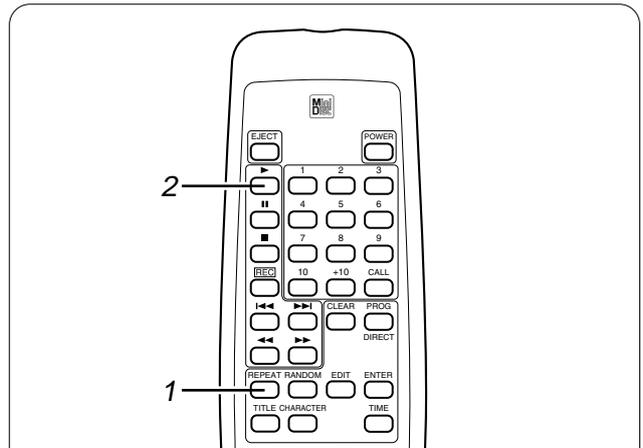
3 プレイボタンを押します。
選択された曲の再生をはじめます。
選択された曲の再生が終わると、その曲の頭に戻って再生をくり返します。

【例】3曲目を選んだとき

操作2の後テンキー、+10ボタンを押して曲番を選ぶと、選択された曲の1曲リピート再生をはじめます。再生中にリピートボタンを1回押した場合も、再生中の曲を1曲リピート再生します。1曲リピート再生を止めるときは、“ RPT ”
表示が消灯するまでリピートボタンを押してください。

2 全曲をくり返して聞くととき

『全曲リピート再生』



1 リピートボタンを続けて2回押します。
“ RPT ”
ALL “ ”表示が点灯します。

2 プレイボタンを押します。
MDの全曲リピート再生をはじめます。

再生中にリピートボタンを押し“ RPT ALL ”表示にした場合も、再生中のディスクを全曲リピート再生します。プログラム再生中にリピートボタンを押した場合は、プログラムされた順に再生をくり返します。全曲リピート再生を止めるときは、“ RPT ”
表示が消灯するまでリピートボタンを押してください。

ご注意

プログラム再生中およびランダム再生中に1曲リピート再生はできません。
1グループ再生中およびグループプログラム再生中に1曲リピート再生はできません。

12 録音のしかた

録音済みのディスクを使用するときは、残り時間に注意してください。

録音済みのディスクの内容をすべて消去して、ディスクの頭から録音したいときは全曲消去操作をおこなってから録音してください。(38ページ参照)

録音をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。(17ページ参照)

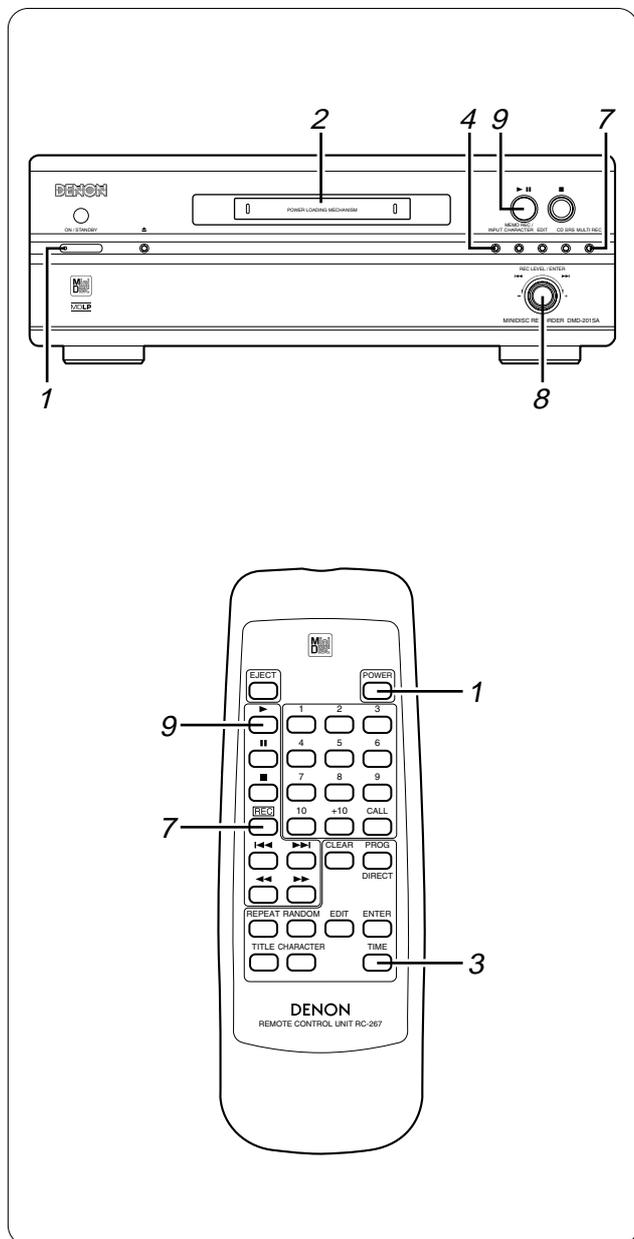
PRESTA-201SAシリーズとシステム接続時は、「CDシンクロ録音機能」(55ページ)や「同期録音機能」(56ページ)を使うと便利です。

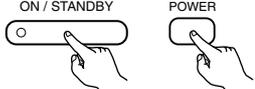
システム接続をしないで録音する場合、ブランクディスク(録音されていないディスク)およびノートトラックディスク(ディスク名のみ記録されたディスク)を入れたときは自動的に録音一時停止状態になりますので、アナログ録音の操作7、およびデジタル録音の操作5は不要です。(オートトラックポーズ機能)

また、これらのディスクが入っている状態で電源を入れたときも、オートトラックポーズ機能がはたらきます。編集をおこなった後、TOCの記録をおこなわないと“Write UTOC”が表示され、録音モードには入れません。

(1) 録音のはじめかた

1 アナログ入力録音をおこなうとき

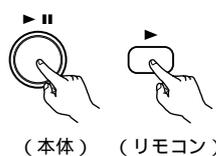
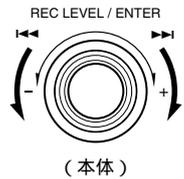


1	電源を入れます。 
2	録音用のディスクを入れます。 ディスクを入れるときは、ディスク上面の矢印の向きに従ってディスク挿入口に差し込んでください。ディスクは自動的に引き込まれます。
3	〔記録済みのディスクを使用する場合〕 タイムボタンを押して録音可能時間を確認します。 ボタンを押すたびに、記録済み時間と録音可能時間が切り替わります。 
4	入力切り替えボタンを押して、『Analog』に切り替えます。 選択された入力ソースの“ANA”表示が点灯します。 
5	25ページの「オートトラックマーク(ATM)の設定」の操作をおこない、ATM機能のオン/オフを選びます。 ATM機能：オン “ATM”表示が点灯します。録音入力信号の無音部(約3秒以上)を感知すると自動的に曲番をつけて記録します。 ATM機能：オフ 一続きの曲として記録されます。
6	CDプレーヤー、カセットデッキなどで、録音したい曲を再生します。
7	録音ボタンを1回押します。 録音一時停止状態になります。 

(次ページにつづきます)

録音のしかた(つづき)

8	<p>ジョグダイヤルを回して録音レベルを調整します。</p> <p>レベルメーターが“OVER”表示まで点灯しないように調整してください。</p> <p>調整が終わったら、録音したい曲をスタンバイ状態にします。</p> <p>設定された録音レベルは記憶されますが、2、3日間通電していない状態が続くと、データが消去される場合があります。</p>
9	<p>PRESTA-201SAシリーズ以外の機器から録音する場合 (システム接続していない機器から録音するとき)</p> <p>チューナーの放送の場合は録音したいところで、CDプレーヤー、カセットデッキなどは録音したい曲を再生し、プレイ/ポーズボタンを押します。</p> <p>録音をはじめます。</p>
<p>PRESTA-201SAシリーズとシステム接続して録音するときは、CDプレーヤー(DCD-201SA)、CDレコーダー(CDR-201SA)、カセットデッキ(DRR-201SA)と同期録音機能がはたらき、各機器のプレイ/ポーズボタン(▶/⏸)を押すと自動的に録音を開始します。詳しくは56ページの「同期録音機能」を参照してください。</p>	



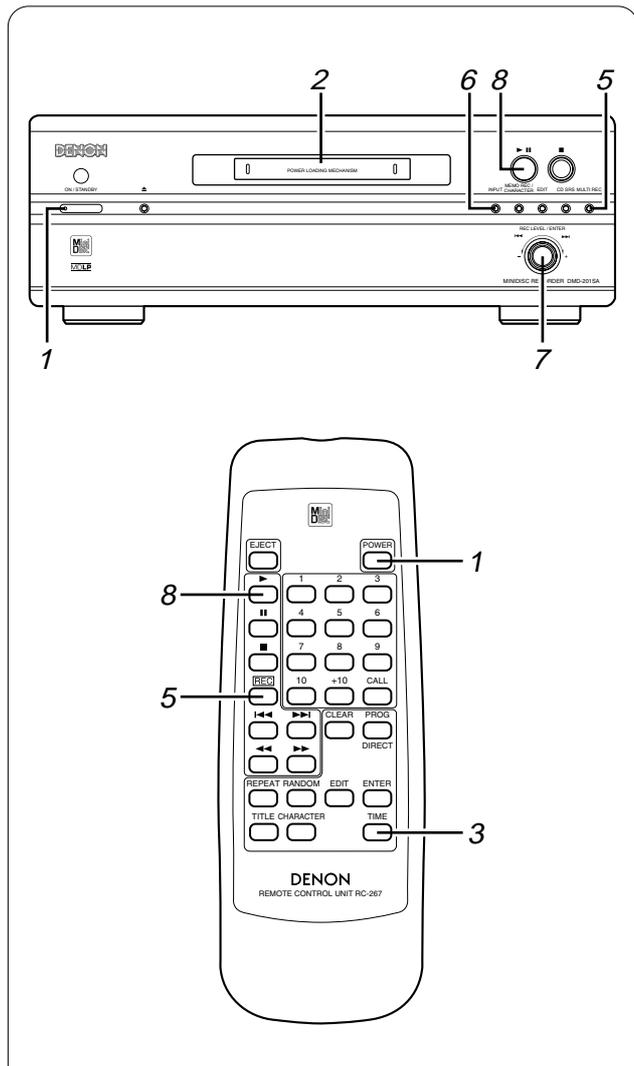
【オートトラックマーク(ATM)の設定】

1	<p>停止中にエディットボタンを押します。</p>
2	<p>ジョグダイヤルを回して“Analog A.T.M?”を表示させます。</p>
3	<p>エンターボタンを押して、オートトラックマークの選択モードを確定します。</p>
4	<p>ジョグダイヤルを回して、オートトラックマークのオン/オフを設定します。</p> <p>選択されているモードが点滅します。</p>
5	<p>エンターボタンを押して、オートトラックマークのオン/オフを確定します。</p> <p>“A.T.M On(Off)”が表示されます。</p>
<p>オートトラックマークの設定は、アナログ録音一時停止状態でもおこなえます。</p>	

録音のしかた(つづき)

2 デジタル入力録音をおこなうとき

本機にはサンプリングコンバーターが搭載されています。
デジタル入力信号のサンプリング周波数がCD(44.1kHz)と異なる衛星放送やDAT(32kHz、48kHz)の場合は、自動的にサンプリング周波数を44.1kHzに変換して録音します。

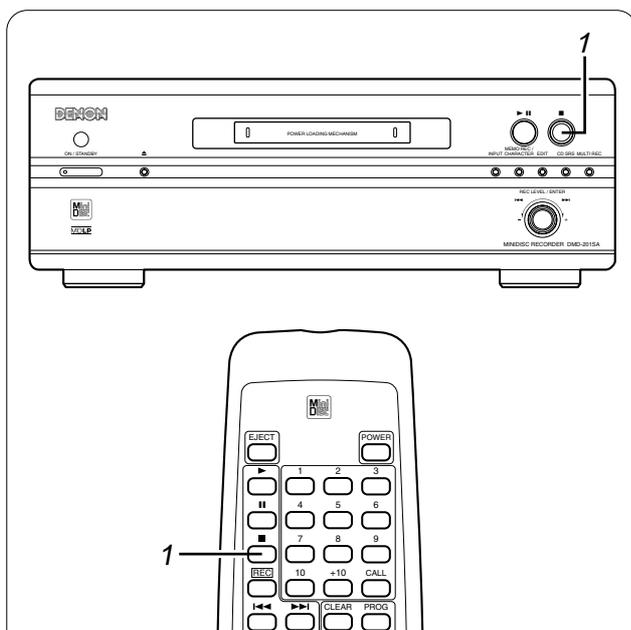


1	電源を入れます。 (本体) (リモコン)
2	録音用のディスクを入れます。 ディスクを入れるときは、ディスク上面の矢印の向きに従ってディスク挿入口に差し込んでください。ディスクは自動的に引き込まれます。
3	〔記録済みのディスクを使用する場合〕 タイムボタンを押して録音可能時間を確認します。 ボタンを押すたびに、記録済み時間と録音可能時間が切り替わります。 (リモコン)

4	CDプレーヤーなどで録音したい曲を再生します。
5	録音ボタンを1回押します。 録音一時停止状態になります。 (本体) (リモコン)
6	入力切り替えボタンを押して、『Optical-1』または『Optical-2』に切り替えます。 選択された入力ソースの“OPT1”または“OPT2”表示が点灯し、入力ソースのサンプリング周波数が表示されます。 (本体) “OPT1”または“OPT2”表示が点滅しているときは、データが正常に入力されていないためです。このようなときは、デジタル入力端子の接続を確認してください。
7	ジョグダイヤルを回して録音レベルを調整します。 レベルメーターが“OVER”表示まで点灯しないように調整してください。 (本体) 調整が終わったら、録音したい曲をスタンバイ状態にします。 設定された録音レベルは記憶されますが、2、3日間通電していない状態が続くと、データが消去される場合があります。
8	PRESTA-201SAシリーズ以外の機器から録音する場合 (システム接続していない機器から録音するとき) 放送受信の場合は録音したいところで、CDプレーヤー、DATなどは録音したい曲を再生し、プレイ/ポーズボタンを押し、録音をはじめます。 (本体) (リモコン)
PRESTA-201SAシリーズとシステム接続して録音するときは、CDプレーヤー(DCD-201SA)、CDレコーダー(CDR-201SA)と同期録音機能がはたらき、各機器のプレイ/ポーズボタン(▶/)を押すと自動的に録音を開始します。詳しくは56ページの「同期録音機能」を参照してください。	

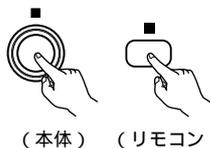
録音のしかた(つづき)

(2) 録音の止めかた



録音中にストップボタンを押します。

1 録音が停止し、TOC情報の書き込みがおこなわれます。



(本体) (リモコン)

また、ディスクに録音可能な時間いっぱいの録音が行われると、自動的に停止します。

TOC情報書き込み時のご注意

TOC情報の書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音や編集された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

ご注意

CDやMDからのデジタル録音では、曲番も自動的に記録されます。(CDまたはMDの録音内容やCDプレーヤーなどの機器によっては、曲番がCDまたはMDと異なる場合があります。)

CDまたはMDからの録音時にCDまたはMDの再生が始まると、曲番が1つ繰り上がる場合があります。このような場合は、不要な曲番を消去(ERASE)してください。(37、38ページ参照)

CD、MD以外のデジタル録音では、自動的に無音部を感知して曲番をつけて録音されます。

CDまたはMDからのデジタル録音で同じ曲を続けてプログラムしたり、1曲リピート再生をした場合、曲番が切り替わらないことがあります。本機では、モノラル録音はできません。

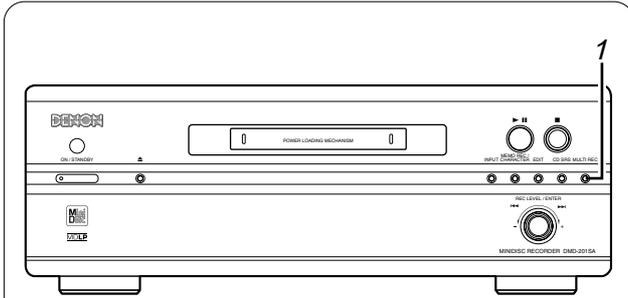
デジタル録音をおこなったMDからさらにデジタル録音をおこなうことはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)に準拠しています。(シリアルコピーマネージメントシステムとは、各種デジタルオーディオ機器間でのデジタル信号どうしの複製を『1世代まで』と規制したものです。)デジタル録音をおこなったMDを録音するときは、アナログ録音をしてください。

デジタル録音をおこなっている途中で、“Copy Prohibit”または“Dig. Unlock”表示になり録音一時停止状態になったときにディスクを排出したい場合は、一度ストップボタン(■)を押してからイジェクトボタン(▲)を押してディスクを取り出してください。

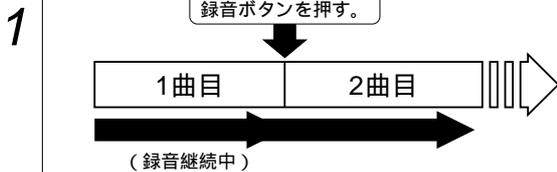
13 いろいろな録音のしかた

(1) 録音中に曲番をつけたいとき

録音中、録音モードに関わらず、曲番をつけることができます。



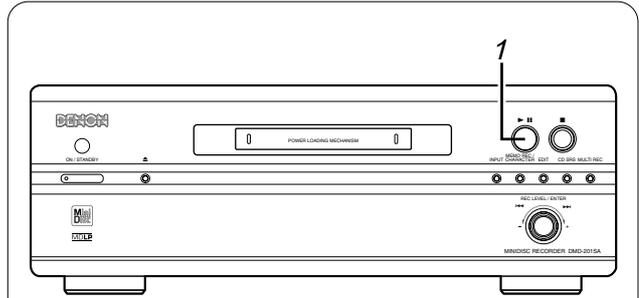
録音中に録音ボタンを押します。
ボタンを押したところで曲番が変わります。



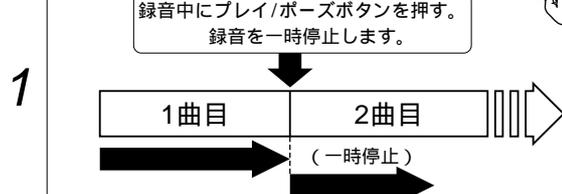
曲番を切り替えてから約4秒間は、曲番を切り替えることができません。

(2) 録音途中で一時的に止めておくとき

録音の途中で一時録音を止め、再びその位置から録音することができます。



録音中にプレイ/ポーズボタンを押します。
ボタンを押したところで一時停止して、曲番が変わります。



録音一時停止中にプレイ/ポーズボタンを押す。
録音をはじめます。

続けて録音するときは、もう一度プレイ/ポーズボタンを押してください。



TOC情報書き込み時のご注意

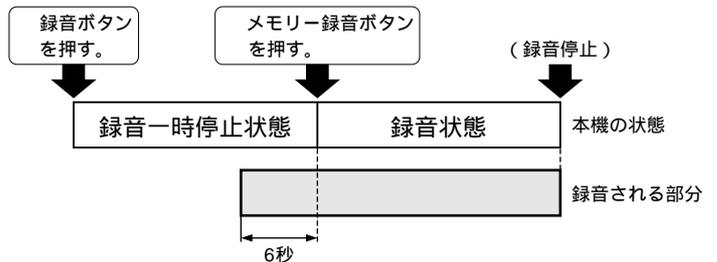
録音終了後、TOC情報の書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

いろいろな録音のしかた(つづき)

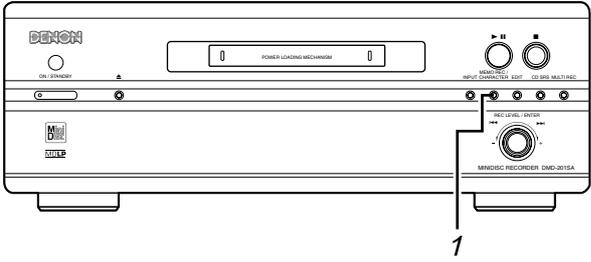
(3) 6秒前の音から録音するとき

『メモリー録音』

録音一時停止状態にした時点で、本機に入力されていた音を最大約6秒前にさかのぼったところから録音をはじめることができます。



衛星放送などのエアチェック (AIR CHECK) で録音をはじめるときのタイミングが遅れ、頭の部分を録音し損なうことを防ぐときに便利です。



1	<p>「録音のはじめかた」(24~26ページ)の操作をおこないます。</p> <p>アナログ入力録音のときは、「アナログ入力録音をおこなうとき」の操作1~8をおこなってください。</p> <p>デジタル入力録音のときは、「デジタル入力録音をおこなうとき」の操作1~7をおこなってください。</p>
2	<p>メモリー録音ボタンを押します。ボタンを押した時点より最大6秒前にさかのぼり、録音をはじめます。このとき「Memory Rec」が表示されます。</p> 
	<p>メモリー録音を止めるときは、ストップボタンを押してください。録音が停止し、TOC情報の書き込みがおこなわれます。</p> 

ご注意

本機は録音一時停止状態にした時点から、入力されている音をメモリーに蓄えはじめます。従って、録音一時停止状態にしてから6秒以上経過した後で録音をはじめないと、6秒前の音から録音できません。

また、メモリー録音をはじめるときの6秒前までの間に入力切り替えボタン (INPUT) で入力を切り替えたときは、切り替える前の入力音声が入力音声が録音されることがあります。

TOC情報書き込み時のご注意

TOC情報の書き込みをはじめると「TOC」表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

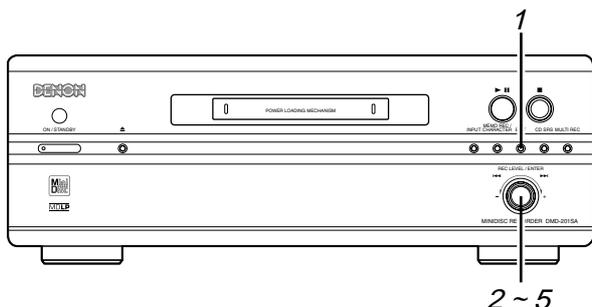
いろいろな録音のしかた(つづき)

(4) 長時間録音するとき

『MDLP録音』

MDLP (MD LONG PLAY) フォーマット対応により、通常録音時間の2倍長または4倍長のステレオ録音ができます (MDLP録音)。

MDLP録音をおこなうには、本機を次のように設定してください。



ご注意

MDLP録音された曲は、他のMDLP非対応機器で再生や編集をおこなうことはできません。

MDLP録音された曲と通常録音された曲の結合や編集 (COMBINE) はできません。

録音中に録音モードを変えることはできません。

1 MDLP録音モードの設定のしかた

1	エディットボタンを押します。 “Edit Mode” が表示されます。	
2	ジョグダイヤルを回して、“MDLP?” を表示させます。	
3	エンターボタンを押します。 “MDLP 2/4/off” が表示されます。	
4	ジョグダイヤルを回して、設定したいモードを選択します。 LP2録音モード (録音時間が通常の2倍) を選択するときは “2” を、LP4録音モード (録音時間が通常の4倍) を選択するときは “4” を、通常録音をおこなうときには “off” をそれぞれ点滅させます。	
5	エンターボタンを押して、録音モードを確定します。 “MDLP 2 (4またはoff)” が表示されます。 MDLP録音モードを選択した場合、“LP 2 (または4)” が点灯します。	

録音モードを設定した後は、アナログ/デジタル録音やCDシンクロ録音など、それぞれの録音と同様の操作で録音をおこないます。

ご注意

録音モードは、録音が終了しても記憶されます。録音を開始する前に、必ず録音モードを確認してください。

2 LPスタンプのつけかた

MDLP録音時に曲名の最初に『LP: 』をつけることができます。これによりMDLP非対応で再生しようとしたときに、『LP: 』が表示され、MDLP録音した曲であることが分かります。

出荷時は『On』に設定されています。

1	エディットボタンを押します。 “Edit Mode” が表示されます。	
2	ジョグダイヤルを回して、“LP stamp?” を表示させます。	
3	エンターボタンを押します。 “Stamp On/Off” が表示されます。	
4	ジョグダイヤルを回して、LPスタンプの “On” または “Off” を選択します。 選択されているモードが点滅します。	
5	エンターボタンを押してLPスタンプの “On” または “Off” を確定します。 “Stamp On (または Off)” が表示されます。	

ご注意

記録された『LP: 』は、MDLP非対応機器で再生しようとしたときに、再生できないことを表示する確認用のスタンプです。再生可能なMDLP対応機器では表示されません。

『On』に設定すると、曲名として記録されるため、1枚のMDに入力できる文字数が少なくなります。また、DIVIDE機能を使って曲を分割すると、後ろの方の曲にも『LP: 』が付きます。

14 グループ機能について

グループ機能とは、新しい機能としてMDに収録されている曲をグループ管理する機能です。

本機では、MDLP (MD LONG PLAY) フォーマット対応により、通常録音時間の2倍長または4倍長のステレオ録音ができます (MDLP録音)。しかし、従来よりも多くの曲が録音できるようになりましたが、再生するときに曲を見つけるのが大変です。このために録音された曲をグループに分割して管理し、簡単に再生、検索ができるようにしました。

本機のグループ機能は下記のような操作ができます。

1. グループを作る

MDディスクに収録されている連続した複数の曲をグループとして登録し、グループを作ります。

本機でMD1枚に登録できるグループ数は最大10グループです。

収録後のグループ登録の変更などができます。

2. 聞きたいグループを再生する

1 Group Mode : 1グループを再生する場合の機能です。

Group Program : 登録したグループをプログラム再生する場合の機能です。

3. グループ中の曲を変更およびグループを解除する

グループに登録されている曲を消去、分割、結合および移動できます。

グループを解除できます。

4. グループのタイトルをつける、変更する

登録したグループにグループ名をつけることができます。

登録したグループのグループ名を変更できます。

本機で入力できるグループ名の文字数合計は100文字です。

ご注意

グループ機能を搭載していない機器での編集
グループ登録したディスクをグループ機能を搭載していない機器で1曲消去、曲の移動などの編集をしないでください。グループとして登録した曲番が編集前と異なり、グループ機能が正しく動作しなくなります。

グループ機能を搭載していない機器でのグループ情報の表示

グループ情報は、実際はディスク名情報の格納部にかかれていています。そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスク名を表示させると以下のような表示になりますが、故障ではありません。

0;ディスク名//1-5 ;グループ名1//6-9;グループ名2//...

本機のグループ機能の制限

本機で扱えるグループは最大10グループです。

グループ名の文字数合計は100文字です。

この制限を超えたMDディスクを使用した場合、また、曲番登録のないグループはグループとして認識しません。

本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。

グループ機能について(つづき)

(1) グループを作る

【例】1曲から15曲までの連続した曲を3グループにする場合

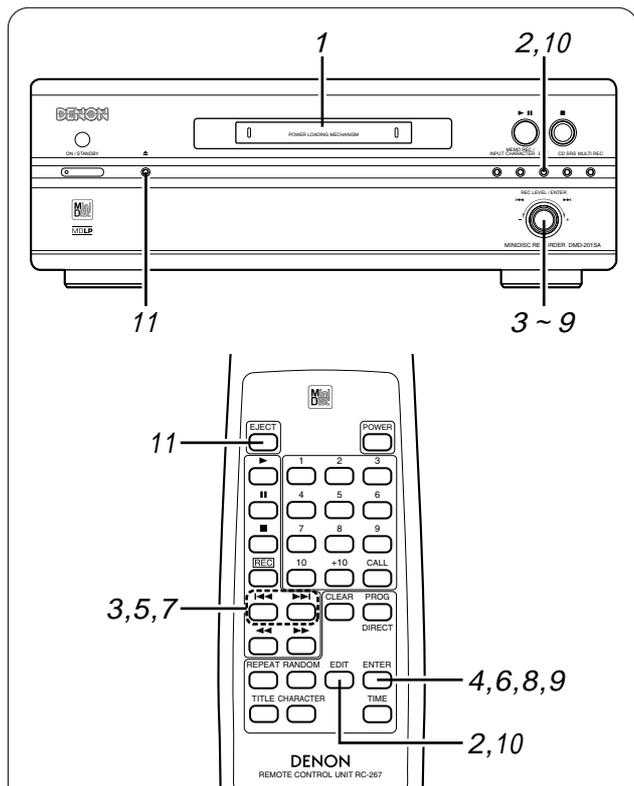
グループされていない連続した曲

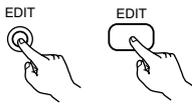
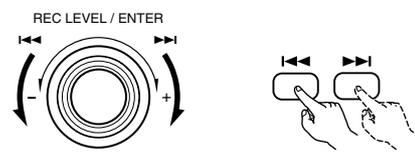
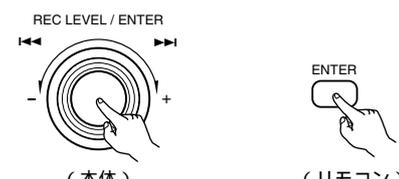
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 →

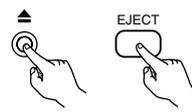
グループ1
1 2 3 4 5

グループ2
6 7 8 9 10

グループ3
11 12 13 14 15



1	ディスク挿入口にグループを作りたい録音済みのディスクを入れます。
2	停止中にエディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。  (本体) (リモコン)
3	本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“New Group?”を表示させます。  (本体) (リモコン)
4	エンターボタンを押します。 “TRACK 01-01”が表示されます。  (本体) (リモコン)

5	本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してグループ登録したい最初の曲番を表示させます。
6	エンターボタンを押します。 “TRACK 01-01”が表示されます。
7	本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してグループ登録したい最後の曲番を表示させます。
8	エンターボタンを押します。 “Complete”が表示されます。 その後“Gr Name In?”が表示されます。
9	エンターボタンを押してグループのタイトルを入力します。 タイトルの入力のしかたは、「ディスク名をつけるには」(45ページ)の操作6を参照してください。
10	エディットボタンを押します。
11	イジェクトボタンを押して、グループ1の登録を完了させます。  グループ1ができます。(本体) (リモコン) TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。 電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。 停止中にストップボタン(■)を押す。
12	操作2~10をくり返し、グループ2、3を作ります。

ご注意

一度グループに登録された曲は、選択できません。下記のような場合には“New Group?”が表示されません。

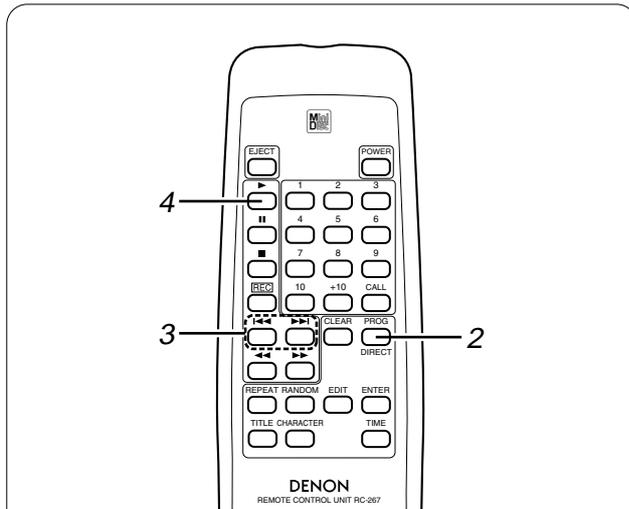
1. 10グループがすでに登録されている。
2. ディスク名の情報エリアにグループ管理情報を書き込むスペースがない。
3. 全トラックがすでにグループ登録されている。

グループ機能について(つづき)

(2) グループを再生する

1 1グループ再生

【例】グループ2を再生する場合

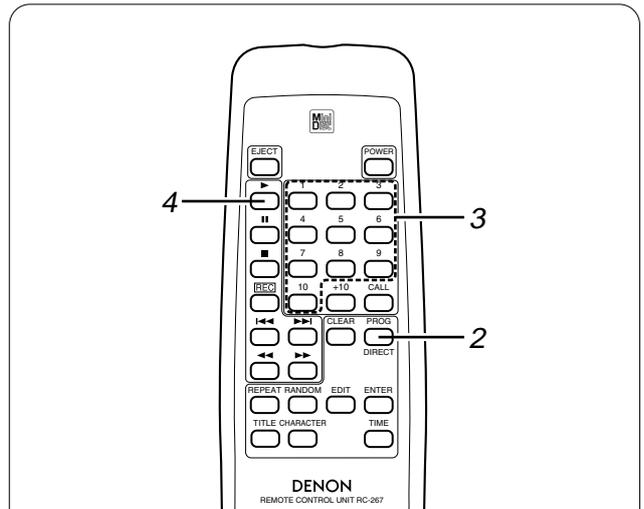


- 1 ディスク挿入口にグループ登録したディスクを入れます。
- 2 停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押して“1Group Mode”を表示させます。
- 3 オートマチックサーチボタンを押して“002G# (タイトル)” (グループ番号) を表示させます。
- 4 プレイボタンを押します。グループ2に登録されている曲が再生され、再生が終わると自動的に停止します。

ご注意

1グループ再生モードでは、ディスプレイの先頭に“G”が表示されます。通常再生モードに戻すにはプログラム/ダイレクトボタンを押して“Direct Mode”を表示させます。

2 グループプログラム再生



- 1 ディスク挿入口にグループ登録したディスクを入れます。
- 2 停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押して“Group Program”を表示させます。“PROG”表示が点灯します。“003G# n 3”が表示 (全グループ数)(ディスクの収録時間) されます。
- 3 テンキーボタンを押して、プログラムしたいグループを選びます。例えば、グループ2、グループ3、グループ1とプログラムしたい場合は、②, ③, ① と押してください。
- 4 プレイボタンを押します。プログラムされた順に再生します。

プログラム内容を確認するときは、停止中にコールボタンを押してください。1回押すたびにプログラムされた内容が順次表示されます。プログラム内容をすべて取り消すときは、停止中にプログラム/ダイレクトボタンを押してください。

ご注意

グループプログラム再生モードでは、ディスプレイの先頭に“G”および“PROG”表示が点灯します。通常再生モードに戻すにはプログラム/ダイレクトボタンを押して“Direct Mode”を表示させます。

グループ機能について(つづき)

(3) グループの曲を変更する

【例】グループ1(1曲目~5曲目)を3曲目~5曲目に変更する場合



12: EJECT
1: 1
2: 2
3: 3
4: 4
5: 5
6: 6
7: 7
8: 8
9: 9
10: 10
11: CLEAR
12: PROG
13: DIRECT
14: REPEAT
15: RANDOM
16: EDIT
17: ENTER
18: TITLE CHARACTER
19: TIME
20: DENON
21: REMOTE CONTROL UNIT RC-267

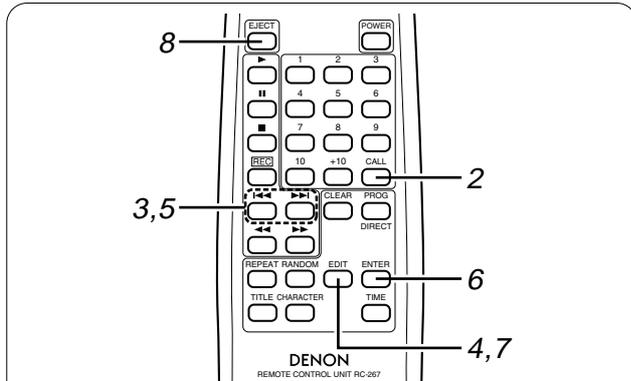
1	ディスク挿入口にグループ登録したディスクを入れます。
2	停止中にコールボタンを押してグループの選択モードにします。 “03GF ___m___s”が表示 (全グループ数)(ディスクの収録時間) されます。 ボタンを押すたびにグループの選択モードとトラックの選択モードに切り替わります。 トラックの選択モードの場合 “157 ___m___s”が表示されます。 (収録曲数)(ディスクの収録時間)
3	オートマチックサーチボタンを押して変更したいグループを選択します。 “01GF (タイトル)” が表示されます。
4	タイムボタンを押して変更したいグループの曲番を確認します。 “01GF 01-05”が表示されます。

5	エディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。
6	オートマチックサーチボタンを押して“Group Modify?”を表示させます。
7	エンターボタンを押します。 “TRACK 01-05”が表示されます。
8	オートマチックサーチボタンを押して変更したい最初の曲番を表示させます。
9	エンターボタンを押します。 “TRACK 03-05”が表示されます。
10	オートマチックサーチボタンを押して変更したい最後の曲番を表示させます。
11	エンターボタンを押します。 “Complete”が表示されます。
12	イジェクトボタンを押して、グループの曲の変更を完了させます。 グループの曲が変更されます。 TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。 書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。 TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。 電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。 停止中にストップボタン(■)を押す。

グループ機能について(つづき)

(4) グループのタイトルを変更する

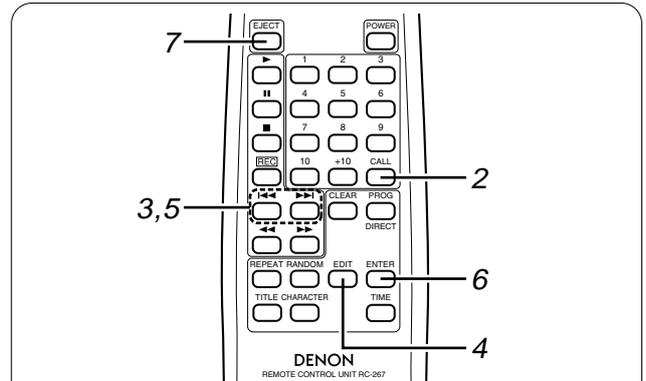
【例】グループ1のタイトルを変更する場合



1	ディスク挿入口にグループ登録したディスクを入れます。
2	停止中にコールボタンを押してグループの選択モードにします。 “030F (全グループ数) (ディスクの収録時間)”が表示されます。 ボタンを押すたびにグループの選択モードとトラックの選択モードに切り替わります。 トラックの選択モードの場合 “15F (収録曲数) (ディスクの収録時間)”が表示されます。
3	オートマチックサーチボタンを押して変更したいグループを選択します。 “010F (タイトル)”が表示されます。
4	エディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。
5	オートマチックサーチボタンを押して“Gr Name In?”を表示させます。
6	エンターボタンを押してグループのタイトルを入力します。 タイトルの入力のしかたは、「ディスク名をつけるには」(45ページ)の操作6を参照してください。
7	エディットボタンを押します。
8	イジェクトボタンを押して、タイトルの変更を完了させます。 タイトルが変更されます。 TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。 書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。 TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。 電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。 停止中にストップボタン(■)を押す。

(5) グループを解除する

【例】グループ2をグループ解除する場合

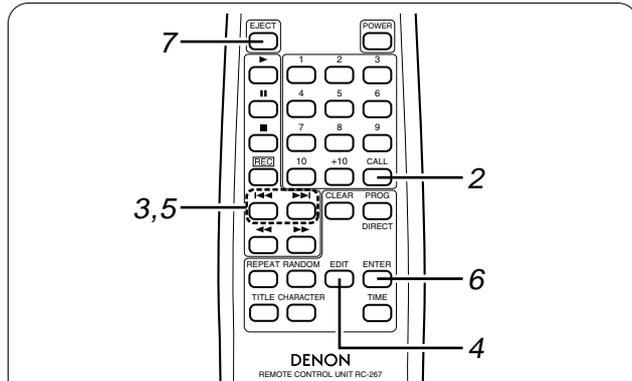


1	ディスク挿入口にグループ登録したディスクを入れます。
2	停止中にコールボタンを押してグループの選択モードにします。 “030F (全グループ数) (ディスクの収録時間)”が表示されます。 ボタンを押すたびにグループの選択モードとトラックの選択モードに切り替わります。 トラックの選択モードの場合 “15F (収録曲数) (ディスクの収録時間)”が表示されます。
3	オートマチックサーチボタンを押して解除したいグループを選択します。 “020F (タイトル)”が表示されます。
4	エディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。
5	オートマチックサーチボタンを押して“Group Cancel?”を表示させます。
6	エンターボタンを押します。 “Complete”が表示されます。
7	イジェクトボタンを押して、グループの解除を完了させます。 グループ2が解除されます。 なお、解除した場合、グループ3は自動的にグループ2に移動します。 TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。 書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。 TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。 電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。 停止中にストップボタン(■)を押す。

グループ機能について(つづき)

(6) グループのタイトルを消去する

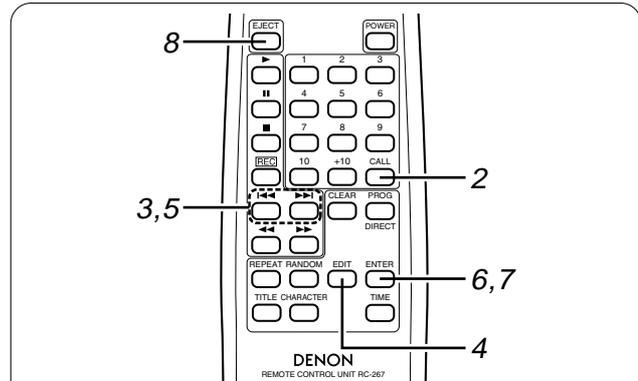
【例】グループ2のタイトルを消去する場合



1	ディスク挿入口にグループ登録したディスクを入れます。
2	停止中にコールボタンを押してグループの選択モードにします。 “03GF <u> </u> <u> </u> <u> </u> ”が表示 (全グループ数)(ディスクの収録時間) されます。 ボタンを押すたびにグループの選択モードとトラックの選択モードに切り替わります。 トラックの選択モードの場合 “15T <u> </u> <u> </u> <u> </u> ”が表示されます。 (収録曲数)(ディスクの収録時間)
3	オートマッチクサーチボタンを押してタイトルを消去したいグループを選択します。 “02GF <u> </u> (タイトル)” が表示されます。
4	エディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。
5	オートマッチクサーチボタンを押して“GF N. Erase?”を表示させます。
6	エンターボタンを押します。 “Complete”が表示されます。
7	イジェクトボタンを押して、タイトルの消去を完了させます。 タイトルが消去されます。 TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。 書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。 TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。 電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。 停止中にストップボタン(■)を押す。

(7) グループを消去する

【例】グループ1を消去する場合



1	ディスク挿入口にグループ登録したディスクを入れます。
2	停止中にコールボタンを押してグループの選択モードにします。 “03GF <u> </u> <u> </u> <u> </u> ”が表示されます。 (全グループ数)(ディスクの収録時間) ボタンを押すたびにグループの選択モードとトラックの選択モードに切り替わります。 トラックの選択モードの場合 “15T <u> </u> <u> </u> <u> </u> ”が表示されます。 (収録曲数)(ディスクの収録時間)
3	オートマッチクサーチボタンを押して消去したいグループを選択します。 “01GF <u> </u> (タイトル)” が表示されます。
4	エディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。
5	オートマッチクサーチボタンを押して“Group Erase?”を表示させます。
6	エンターボタンを押します。 “Erase OK?”が表示されます。
7	エンターボタンを押します。 “Complete”が表示されます。
8	イジェクトボタンを押して、グループ1の消去を完了させます。 グループ1が消去されます。 なお、消去した場合、グループ2は自動的にグループ1に移動します。 TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。 書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。 TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。 電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。 停止中にストップボタン(■)を押す。

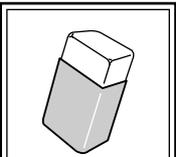
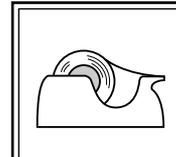
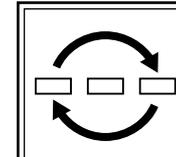
15 編集のしかた

編集機能を使用すると、曲番をつけたり、曲をつないだり、不要な部分を消したりすることができます。また、ディスクや曲ごとにタイトルをつけることもできます。いろいろなミニディスクの便利な編集操作を存分にお楽しみいただけます。

(1) 編集のしかた

本機の編集機能には、次の4つのはたらきがあります。

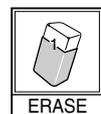
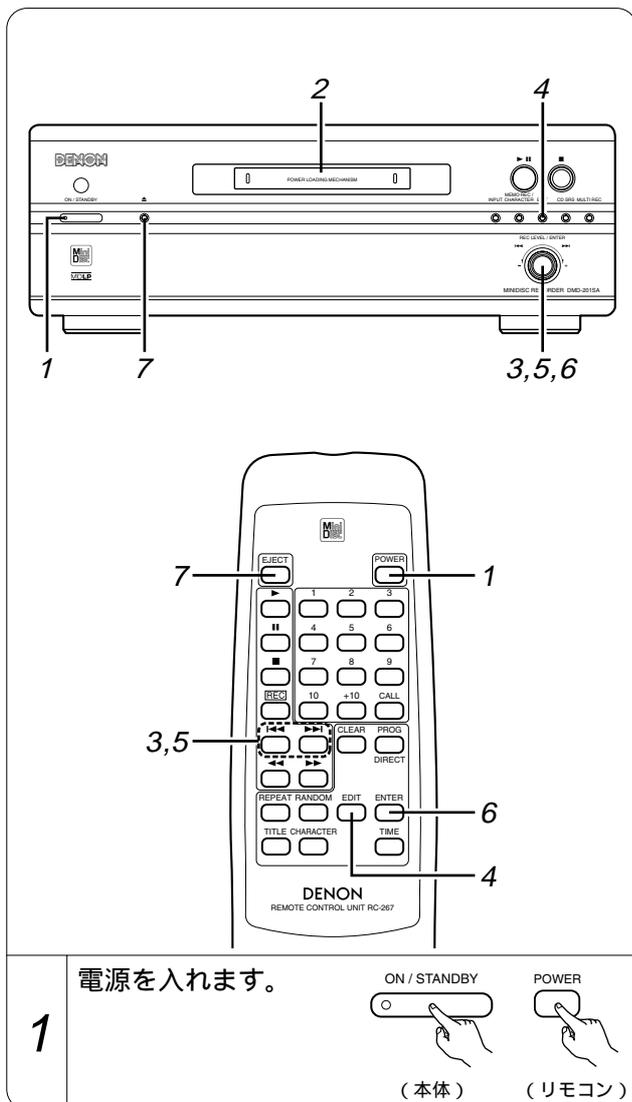
編集機能 (EDIT)

 ERASE	 DIVIDE	 COMBINE	 MOVE
1曲消去 全曲消去 A-B間消去	曲の分割	曲の結合	曲の移動

4つの編集機能を組み合わせて使用することで、様々な編集が可能になります。

編集およびタイトル入力をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じて録音できる状態にしてください。

1 1曲消去のしかた

1 電源を入れます。

ON / STANDBY (本体) POWER (リモコン)

2 ディスク挿入口に1曲消去をおこないたいディスクを入れます。

3 停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して消去したい曲番を表示させます。
一時停止中の曲を消去するときは、この操作は不要です。4から操作します。

REC LEVEL / ENTER (本体) (リモコン)

4 エディットボタンを押します。
"Edit Mode" が表示されます。

EDIT (本体) EDIT (リモコン)

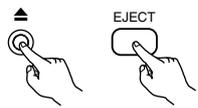
5 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して "Track Erase?" を表示させます。

6 エンターボタンを押して、曲の消去を確定します。
"Complete" が表示されます。
一時停止中はその曲が消去され、消去終了後停止します。曲が消去されると、消去された曲の後ろの曲番が順に前詰めされた番号に変わります。

REC LEVEL / ENTER (本体) ENTER (リモコン)

編集のしかた(つづき)

イジェクトボタンを押して、曲の消去動作を完了させます。



(本体) (リモコン)

7 TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。

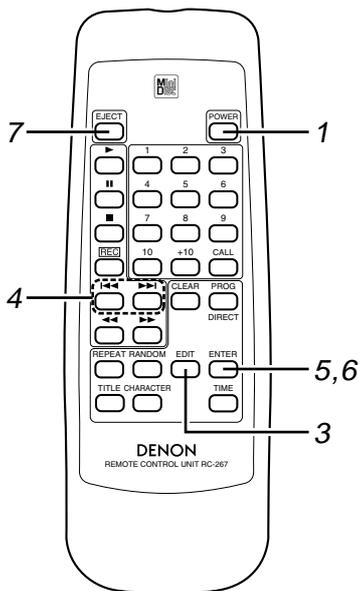
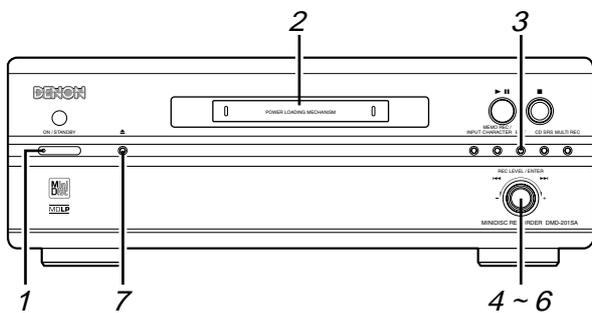
TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。

電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。

停止中にストップボタン(■)を押す。

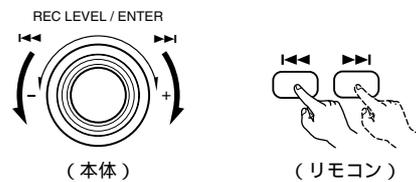
7
つづき

2 すべての曲の消去(全曲消去)のしかた



本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“*All Erase?*”を表示させます。

4



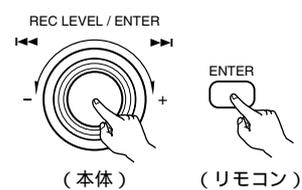
(本体)

(リモコン)

エンターボタンを押します。

5

“*Erase OK?*”と確認のメッセージが表示されます。



(本体)

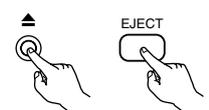
(リモコン)

もう一度エンターボタンを押して、全ての曲の消去を確定します。

6

“*Complete*”が表示されます。

イジェクトボタンを押して、曲の消去動作を完了させます。



(本体) (リモコン)

TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。

7

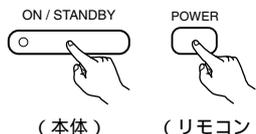
TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。

電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。

停止中にストップボタン(■)を押す。

電源を入れます。

1



(本体) (リモコン)

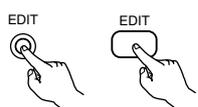
ディスク挿入口に全曲消去をおこないたいディスクを入れます。

2

エディットボタンを押します。

3

“*Edit Mode*”が表示されます。



(本体) (リモコン)

“*All Erase?*”による消去では、全曲消去すると同時にディスク名も消去されます。

全曲消去を止めるときは、操作6の前にストップボタンまたはクリアーボタンを2回押して、“*Erase OK?*”と“*All Erase?*”表示を消してください。



(本体)

(リモコン)

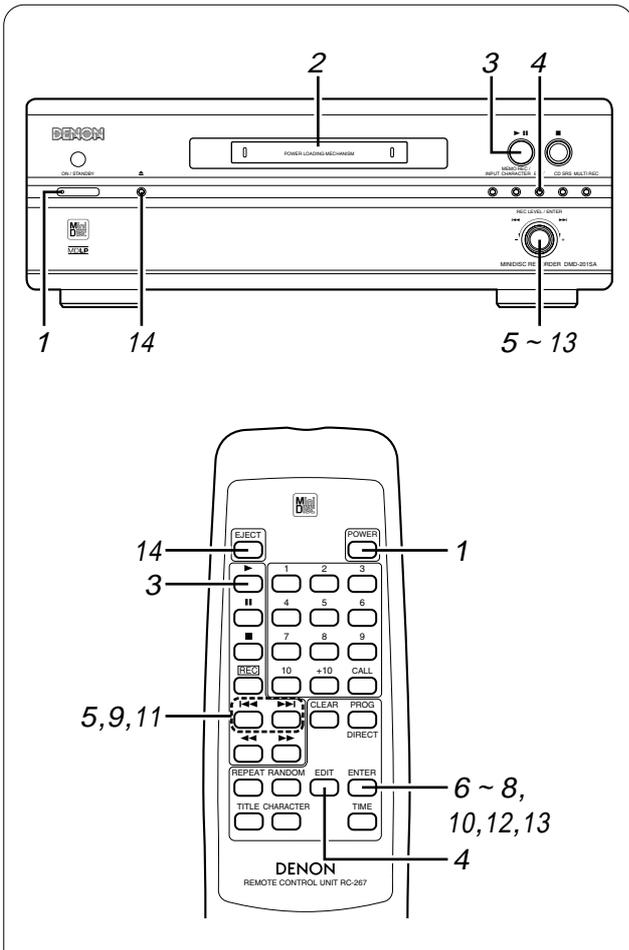
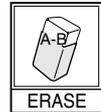
または

(リモコン)

編集のしかた(つづき)

3 1曲中の一部分の消去 (A-B間消去) のしかた

留守録音 (AIR CHECK) など録音したミニディスクの不要な部分を消去するときに便利です。



1	電源を入れます。	 (本体) (リモコン)
2	ディスク挿入口にA-B間消去をおこないたいディスクを入れます。	
3	プレイ/ポーズボタンを押してディスクを再生します。 一時停止中でも、操作はおこなえます。	 (本体) (リモコン)
4	エディットボタンを押します。 “Edit Mode” が表示されます。	 (本体) (リモコン)
5	本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して “A-B Erase?” を表示させます。	 (本体) (リモコン)

6	エンターボタンを押します。 “A Point In?” と確認のメッセージが表示されます。	 (本体) (リモコン)
7	消去を始める位置 (A点) でエンターボタンを押します。 “B Point In?” が表示されます。 一時停止でA点を決めた場合は、プレイ/ポーズボタンを押して再生します。	
8	消去を終わる位置 (B点) でエンターボタンを押します。 “Position OK?” が表示されます。 A点からB点を除いた曲のつなぎの部分が、数秒間くり返し再生されます。	
9	[A点を微調整したいとき] 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してA点を移動させます。 “A Point ±ポイント数” が表示されます。 微調整できる範囲は、最大-176 ~ +176ポイントまでです。(1ポイントは約0.012秒)	
10	エンターボタンを押してA点を再設定します。 “B Point +00” が表示されます。	
11	[B点を微調整したいとき] 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してB点を移動させます。 “B Point ±ポイント数” が表示されます。 微調整できる範囲は、最大-176 ~ +176ポイントまでです。(1ポイントは約0.012秒)	
12	エンターボタンを押します。 “Position OK?” が表示されます。 曲のつなぎの部分を数秒間くり返し再生します。	
13	エンターボタンを押して、A-B間消去を確認します。 “Complete” が表示されます。	
14	イジェクトボタンを押して、曲の消去動作を完了させます。	 (本体) (リモコン)

編集のしかた(つづき)

1つ前の状態に戻したいときは、クリアーボタンを押してください。
A-B間消去を止めるときは、操作13の前にストップボタンまたはクリアーボタンを押してください。

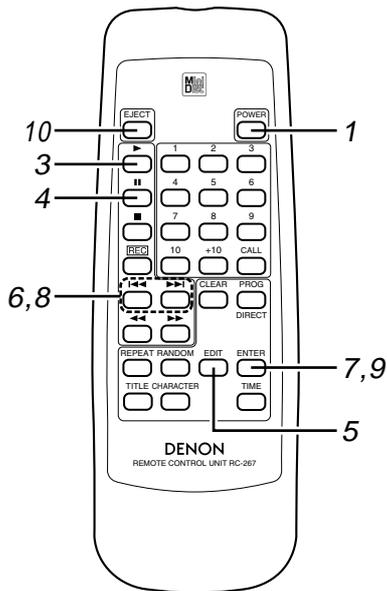
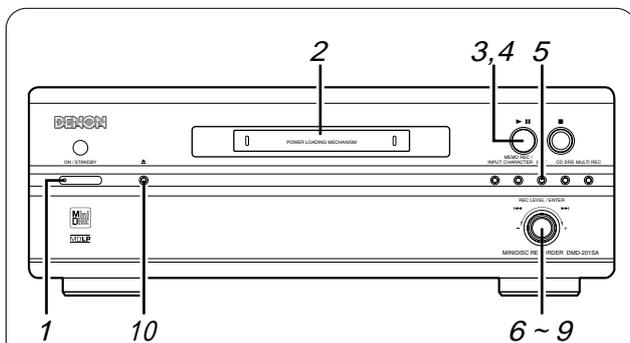


ご注意

一度消去された曲は、「UNDO機能」(50ページ)で元に戻ることがありますが、必ず確認してから消去してください。
グループ登録したディスクでは、本項のA-B間消去はできません。次項の「4」曲を分割するには、および37ページの「1」1曲消去のしかたをご利用ください。

4 曲を分割するには

録音後に曲を分割して曲番をつけることができます。
好きなところで曲番をつけることができ、選曲を簡単におこなうことができますようになります。



4	曲を分割したい位置で一時停止させます。	
5	一時停止中にエディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。	
6	本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Divide?”を表示させます。	
7	エンターボタンを押します。 “Position OK?”が表示されます。 曲を分割する部分が数秒間繰り返し再生されます。	
8	〔分割する位置を微調整したいとき〕 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して分割する位置を移動させます。 “Position ±ポイント数”が表示されます。 微調整できる範囲は、最大 - 255 ~ + 255ポイントまでです。(1ポイントは約0.012秒) 微調整後の分割する部分が、数秒間くり返し再生されます。 微調整後、よければエンターボタンを押します。 “Position OK?”が表示されます。	
9	エンターボタンを押して、曲の分割を確定します。 “Complete”が表示されます。	

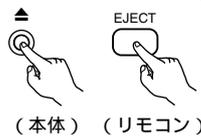
1	電源を入れます。	
2	ディスク挿入口に曲の分割をおこないたいディスクを入れます。	
3	プレイ/ポーズボタンを押してディスクを再生します。	

(次ページにつづきます)

編集のしかた(つづき)

10

イジェクトボタンを押して、曲の分割動作を完了させます。



TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。

電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。
停止中にストップボタン(■)を押す。

曲名がついている曲を分割したときは、分割された両方の曲に同じ曲名がつきます。1つ前の状態に戻りたいときは、クリアーボタンを押してください。

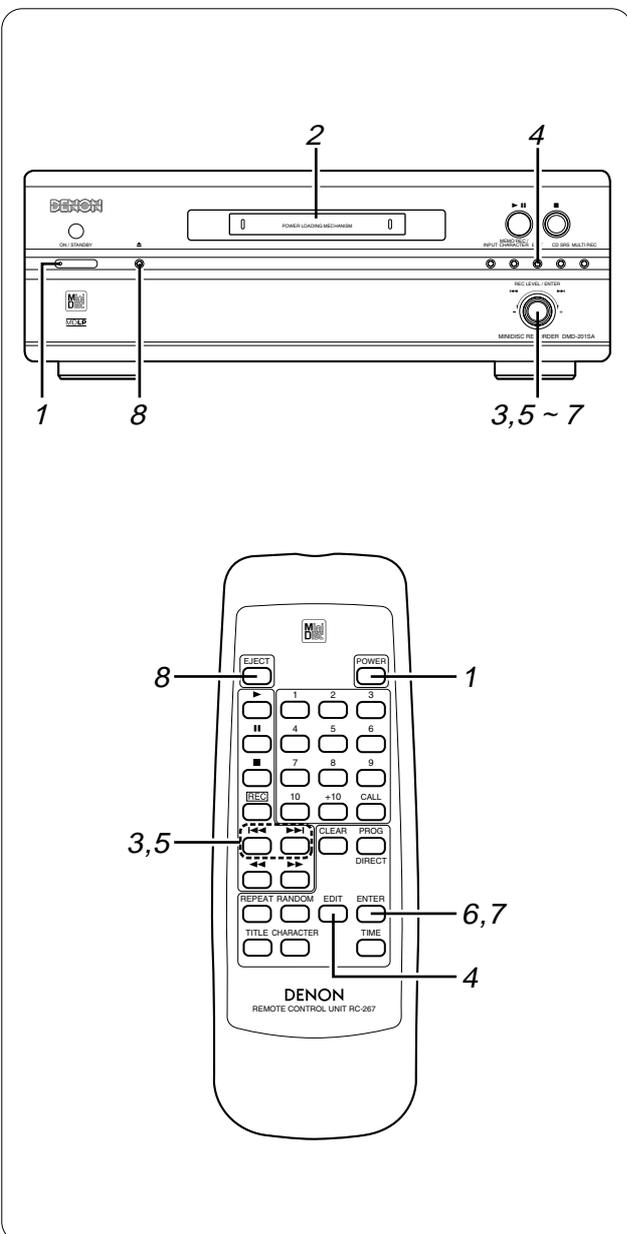


分割した曲を元に戻すときは、「曲を結合するには」(41、42ページ)を参照してください。曲の分割を止めるときは、操作9の前にストップボタンまたはクリアーボタンを押してください。



5 曲を結合するには

連続した2つの曲をつないで1曲にすることができます。

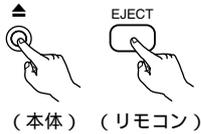


- | | | | |
|---|---|----------------------------|-------------|
| 1 | 電源を入れます。 | ON / STANDBY
POWER | (本体) (リモコン) |
| 2 | ディスク挿入口に曲の結合をおこないたいディスクを入れます。 | | |
| 3 | 停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して結合する2つの曲の曲番の大きい方を表示させます。 | REC LEVEL / ENTER | (本体) (リモコン) |
| 4 | エディットボタンを押します。
“Edit Mode”が表示されます。 | EDIT EDIT | (本体) (リモコン) |
| 5 | 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Combine?”を表示させます。 | | |
| 6 | エンターボタンを押します。
“Combine OK?”が表示れます。
曲のつながりの部分が、数秒繰り返し再生されます。 | REC LEVEL / ENTER
ENTER | (本体) (リモコン) |
| 7 | エンターボタンを押して、曲の結合を確定します。
“Complete”が表示されます。 | | |

(次ページにつづきます)

編集のしかた(つづき)

イジェクトボタンを押して、曲の結合動作を完了させます。



(本体) (リモコン)

TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。

電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。

停止中にストップボタン(■)を押す。

8

一時停止中でも曲を結合することができます。この場合、一時停止している曲とその前の曲が結合されます。曲名は結合したい2つの曲の曲番が小さい曲のものになります。ただし、その曲に曲名がついていないときは、後ろの曲の曲名が付きまゝ。曲名がついている曲を分割したときは、分割された両方の曲に同じ曲名が付きまゝ。

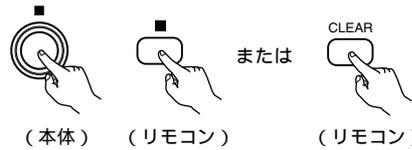
1つ前の状態に戻したいときは、クリアーボタンを押してください。

結合された曲を元に戻すときは、「曲を分割するには」(40、41ページ)を参照してください。

曲の分割を止めるときは、操作7の前にストップボタンまたはクリアーボタンを押してください。



(リモコン)



(本体) (リモコン) または (リモコン)

ご注意

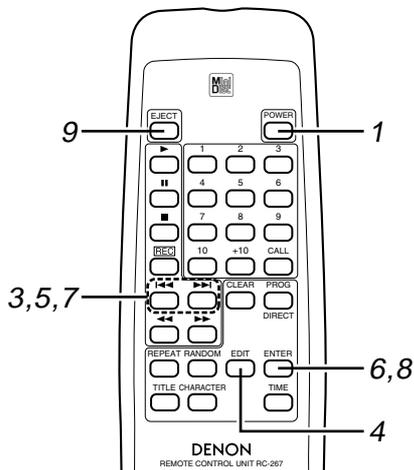
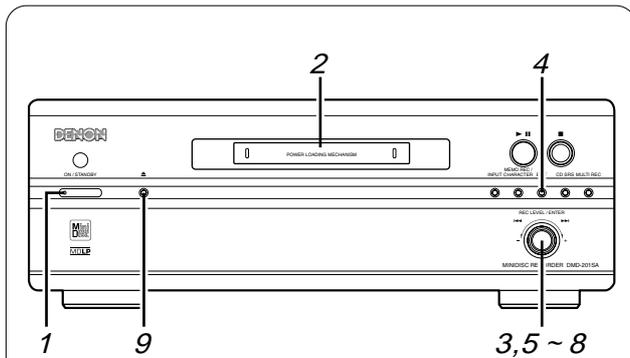
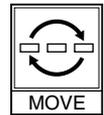
デジタル入力から録音された曲とアナログ入力から録音された曲を結合することはできません。

MDLP録音された曲と通常録音された曲を結合することはできません。

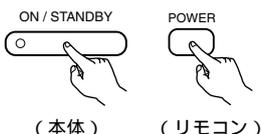
15秒以下の短い曲では結合できないことがあります。(操作7でエンターボタンを押した時“Impossible”が表示されます。)

ステレオで録音した曲と他のMDレコーダーでモノラル録音した曲は結合できません。

6 1曲ずつ移動するには



電源を入れます。

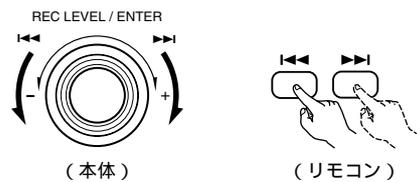


(本体) (リモコン)

1

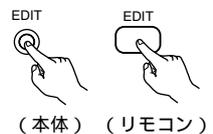
2 ディスク挿入口に曲の移動をおこないたいディスクを入れます。

3 停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して移動したい曲番を表示させます。



(本体) (リモコン)

4 エディットボタンを押します。“Edit Mode”が表示されます。



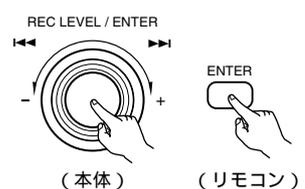
(本体) (リモコン)

5 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Move?”を表示させます。

6 エンターボタンを押して“__ Tr” (移動前)

MV __ Tr”を (移動後)

表示させます。



(本体) (リモコン)

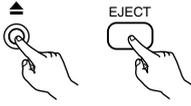
7 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して移動後の曲番を指定します。

(次ページにつづきます)

編集のしかた(つづき)

8 エンターボタンを押して、曲の移動を確定します。
“Complete”が表示されます。

イジェクトボタンを押して、曲の移動動作を完了させます。

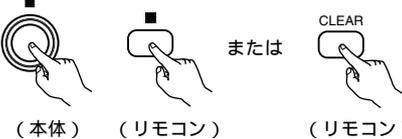


(本体) (リモコン)

9 TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。

9 TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。
電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。
停止中にストップボタン(■)を押す。

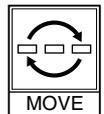
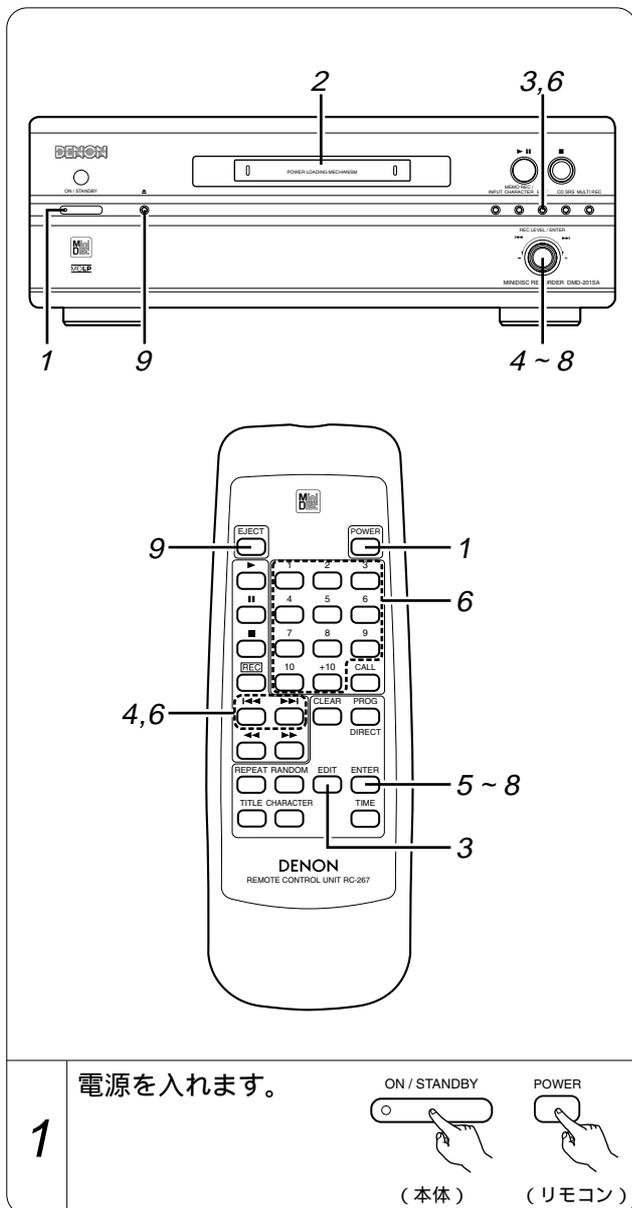
曲の移動を止めるときは、操作8の前にストップボタンまたはクリアーボタンを押してください。



(本体) (リモコン) または (リモコン)

7 曲を並べ替えるには

ミニディスクに録音した曲の曲番を並べ替えるときに便利です。

1: ON / STANDBY button (本体)

2: Disc tray (本体)

3: EJECT button (リモコン)

4: REPEAT button (リモコン)

5: EDIT button (リモコン)

6: NUMERICAL KEYS (リモコン)

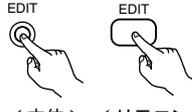
7: REPEAT button (本体)

8: EDIT button (本体)

9: EJECT button (本体)

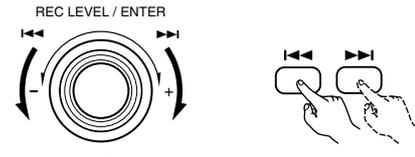
2 ディスク挿入口に曲の並べ替えをおこないたいディスクを入れます。

3 停止中にエディットボタンを押します。
“Edit Mode”が表示されます。



(本体) (リモコン)

4 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Program Move?”を表示させます。



(本体) (リモコン)

5 エンターボタンを押します。
“New 01<---Tr”が表示され、新たに1曲目としてプログラムするモードになります。



(本体) (リモコン)

6 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンまたはテンキーを押した後にエンターボタンを押して、移動する曲番をプログラムします。
例えば、現在3曲目の曲を1曲目とする場合は、『3』を指定してください。このとき“New 01<03Tr”が表示され、エンターボタンを押すと次の曲番の設定状態になり、“New 02<---Tr”が表示されます。
続けて曲番をプログラムするときは、操作6をくり返しおこなってください。

(次ページにつづきます)

編集のしかた(つづき)

- 7** エンターボタンを押します。
操作5でプログラムした内容を確定するときは、“New 〇〇<---Tr”表示のときにエンターボタンを押してください。
“Prog.Move OK?”が表示されます。
- 8** エンターボタンを押して、曲の移動を確定します。
“Complete”が表示されます。
- 9** イジェクトボタンを押して、曲の移動動作を完了させます。
(本体) (リモコン)
- TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。
電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。
停止中にストップボタン(■)を押す。

曲番の指定は、最大25曲までできます。操作6のときにクリアーボタンを押すと、最後にプログラムした曲番から順に削除します。

操作6のときにコールボタンを押すと、プログラムした内容が確認できます。曲の移動を止めるときは、操作8の前にストップボタンまたはクリアーボタンを押してください。



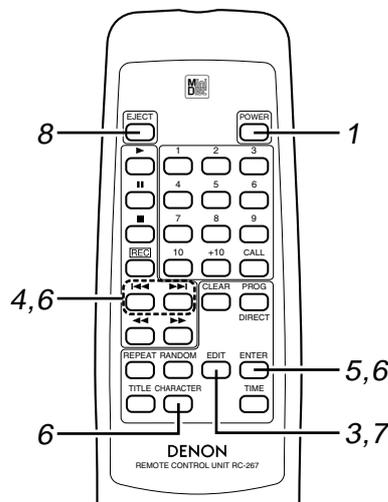
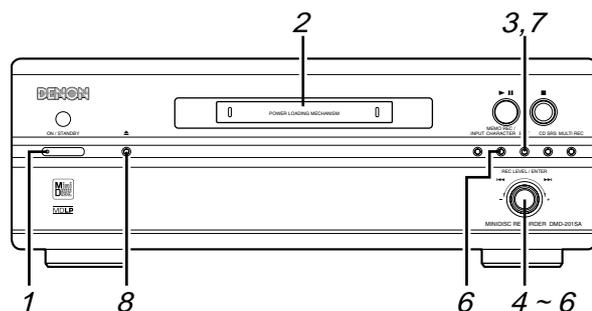
ご注意

プログラムした曲以外の曲は、プログラムした曲の後ろに並べ替えられます。同じ曲を2回以上プログラムすることはできません。グループ登録したディスクでは本項の曲の並べ替えはできません。42ページの「6 1曲ずつ移動するには」をご利用ください。

(2) タイトルをつける

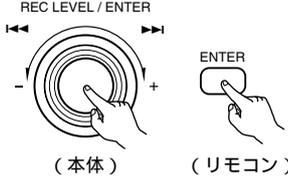
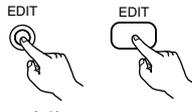
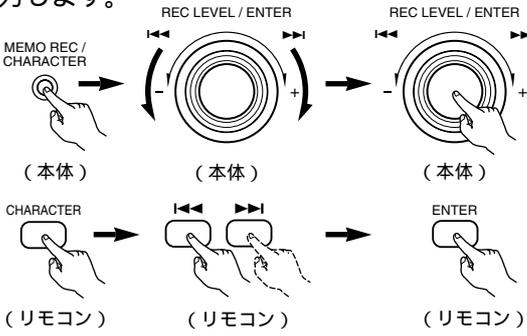
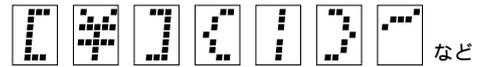
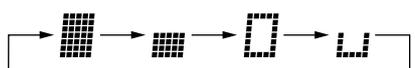
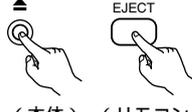
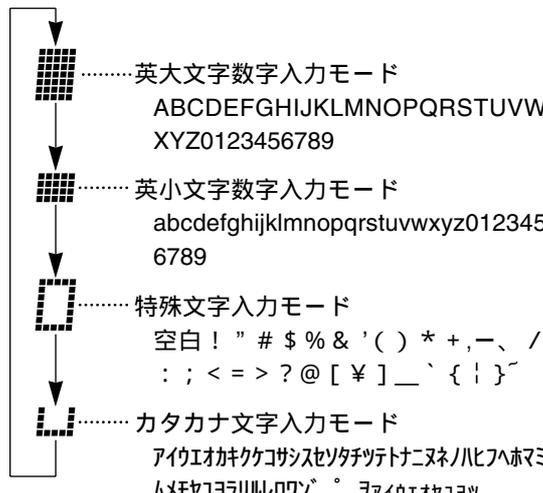
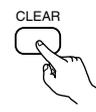
英大文字、英小文字、数字、特殊文字、カタカナで曲名やディスク名を入力することができます。曲名やディスク名は、それぞれ100文字(英数字の場合)まで入力することができます。

1 ディスク名をつけるには



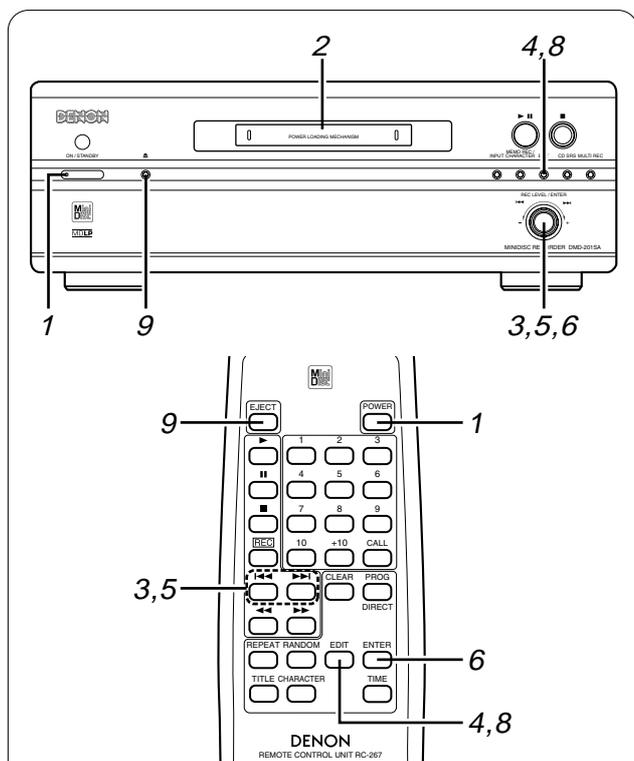
- 1** 電源を入れます。
(本体) (リモコン)
- 2** ディスク挿入口にディスク名をつけたいディスクを入れます。
- 3** エディットボタンを押します。
“Edit Mode”が表示されます。
(本体) (リモコン)
- 4** 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Disc Name In?”を表示させます。
(本体) (リモコン)

編集のしかた(つづき)

<p>5</p>	<p>エンターボタンを押します。 タイトル入力待ちを表わすカーソルが点滅します。</p>  <p>(本体) (リモコン)</p> 	<p>7</p> <p>エディットボタンを押して、入力したディスク名を確定します。</p>  <p>(本体) (リモコン)</p>
<p>6</p>	<p>キャラクターボタンで入力モードを選び、本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押してタイトル文字を選び、エンターボタンで1文字ずつ入力します。</p>  <p>(本体) (本体) (本体) (リモコン) (リモコン) (リモコン)</p> <p>本機で入力できても、他の機種では表示されない特殊文字がありますので、ご注意ください。</p>  <p>キャラクターボタンを押すたびに、カーソルの形が変わり、入力モードが切り替わります。</p> 	<p>8</p> <p>イジェクトボタンを押して、TOC情報をディスクへ書き込みます。</p>  <p>(本体) (リモコン)</p> <p>TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。</p> <p>電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。 停止中にストップボタン(■)を押す。</p>
<p></p>	<p>[カーソルの説明と表示できる文字・記号]</p>  <ul style="list-style-type: none"> 英大文字数字入力モード ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 0123456789 英小文字数字入力モード abcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789 特殊文字入力モード 空白 ! " # \$ % & ' () * + , - / : ; < = > ? @ [¥] _ ` { } ~ カタカナ文字入力モード アイエオカキクケコサシセソチツテトニヌネハヒフホミムメヤヨリルロワ ° ファイエヤヨツ <p>▶▶ ボタンまたはエンターボタンを押すと、選択された文字を確定してカーソルが次の文字に移り、次の文字の入力待ち状態となります。</p> <p>◀◀ ボタンを押すと、カーソルを戻すことができます。入力文字を修正するときに使用します。</p>	<p>文字を消去するときは、消したい文字にカーソルを合わせてからクリアボタンを押してください。</p>  <p>(リモコン)</p> <p>文字を修正するときは、修正したい文字を消去してからもう一度文字を入力してください。</p>

編集のしかた(つづき)

2 曲名をつけるには

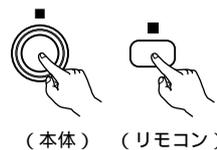


1	<p>電源を入れます。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
2	<p>ディスク挿入口に曲名をつけたいディスクを入れます。</p>
3	<p>停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して曲名をつける曲番を表示させます。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
4	<p>エディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
5	<p>本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Tr. Name In?”を表示させます。</p>
6	<p>エンターボタンを押します。 タイトル入力待ちを表わすカーソルが点滅します。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>

7	<p>タイトルを入力します。 タイトルの入力のしかたは、「ディスク名をつけるには」(45ページ)の操作6を参照してください。</p>
8	<p>エディットボタンを押して、入力した曲名を確定します。</p>
9	<p>イジェクトボタンを押して、TOC情報をディスクへ書き込みます。</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <p>TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。 電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。 停止中にストップボタン(■)を押す。</p>

再生中または録音中に曲名をつけるときは、曲が変わるまでに曲名をつけ終わってください。途中で曲が変わると、それまでに入力された文字は無効になります。

録音一時停止中に入力された文字は、ストップボタンを押すと無効になります。



ご注意

本機でつけたカタカナのタイトルは、カタカナ入力に対応していない他の機器では正しく表示されません。また一部のカタカナ入力対応機器では、正しく表示されない場合があります。ディスク名、グループ名の合計、および曲名はそれぞれ100文字(英数字の場合)まで入力することができます。100文字を超えるとディスプレイに“Name Full”が表示されます。他のミニディスクレコーダーで100文字以上入力したミニディスクに本機でタイトル入力の操作をおこなうと100文字を超える文字は消去されます。ディスク名、グループ名および曲名を合わせて約1700文字(英数字の場合)まで入力できます。文字数を超えると、ディスプレイに“Name Full”が表示されます。カタカナは、1文字当たりのデータ量が多いため、入力できる文字数が英数字にくらべて少なくなります。

編集のしかた(つづき)

(3) タイトルを消去する

曲名やディスク名を消去することができます。

1 ディスク名を消去するには

The diagram shows the Denon CD player and its remote control. Callouts 1-6 point to specific components and buttons used in the process of erasing titles. Callout 1 points to the power button on the remote. Callout 2 points to the disc tray on the player. Callout 3 points to the edit buttons on the remote. Callout 4 points to the track skip buttons on the remote. Callout 5 points to the enter button on the remote. Callout 6 points to the eject button on the remote.

3	<p>停止中に総曲数が表示されているとき、エディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。</p>	<p>(本体) (リモコン)</p>
4	<p>本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Disc N.Erase?”を表示させます。</p>	<p>(本体) (リモコン)</p>
5	<p>エンターボタンを押して、ディスク名の消去を確定します。 “Complete”が表示されます。</p>	<p>(本体) (リモコン)</p>
6	<p>イジェクトボタンを押して、TOC情報をディスクへ書き込みます。</p> <p>TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。</p> <p>電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。 停止中にストップボタン(■)を押す。</p>	<p>(本体) (リモコン)</p>
1	<p>電源を入れます。</p>	<p>(本体) (リモコン)</p>
2	<p>ディスク挿入口にディスク名を消去したいディスクを入れます。</p>	<p>(本体) (リモコン) または (リモコン)</p>

編集のしかた(つづき)

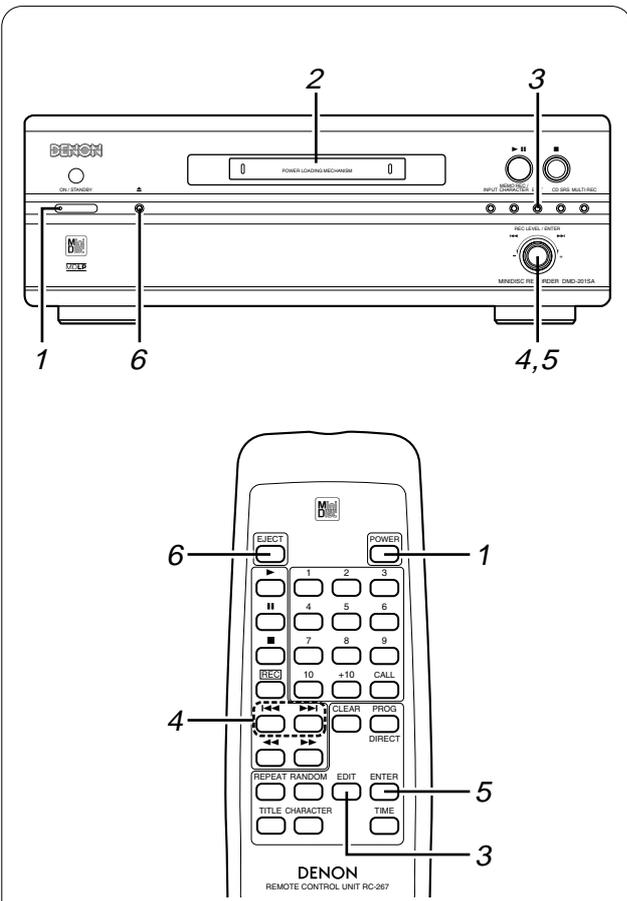
2 曲名を消去するには

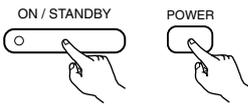
The diagram shows the front panel of the Denon CD player and the back of the remote control. Callouts 1-7 point to the power buttons, disc tray, disc, jog dial, edit buttons, and eject button respectively.

3	<p>停止中に本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマッチ検索ボタンを押して曲名を消去する曲番を表示させます。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
4	<p>曲名を消去する曲番が表示されているときに、エディットボタンを押します。 “Edit Mode”が表示されます。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
5	<p>本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマッチ検索ボタンを押して“Track Name Erase?”を表示させます。</p>
6	<p>エンターボタンを押して、曲名の消去を確定します。 “Complete”が表示されます。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
7	<p>イジェクトボタンを押して、TOC情報をディスクへ書き込みます。</p> <p>(本体) (リモコン)</p> <p>TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。</p> <p>電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。</p> <p>停止中にストップボタン(■)を押す。</p>
1	<p>電源を入れます。</p> <p>(本体) (リモコン)</p>
2	<p>ディスク挿入口に曲名を消去したいディスクを入れます。</p>
	<p>消去を止めるときは、操作6の前にストップボタンまたはクリアーボタンを押してください。</p> <p>(本体) (リモコン) または (リモコン)</p>

編集のしかた(つづき)

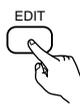
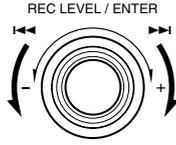
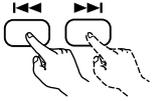
3 すべての曲名およびディスク名を消去するには



- | | |
|----------|--|
| 1 | 電源を入れます。

(本体) (リモコン) |
| 2 | ディスク挿入口にすべての曲名およびディスク名を消去したいディスクを入れます。 |

ご注意

“All N.Erase?”を実行すると、ディスク名の情報エリアに書き込まれたグループ登録情報も消去されます。消去を止めるときは“All Of Cancel?”表示時にストップボタン(■)を押してください。消去を中止できます。

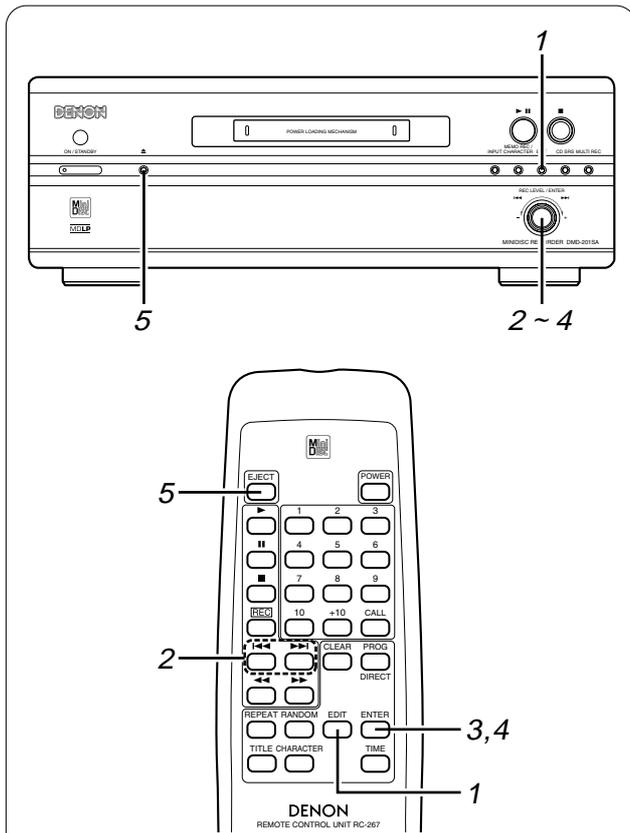
- | | |
|---|---|
| 3 | 停止中にエディットボタンを押します。“Edit Mode”が表示されます。
 (本体)  (リモコン) |
| 4 | 本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“ALL N.Erase?”を表示させます。
 (本体)  (リモコン) |
| 5 | エンターボタンを押して、すべての曲名およびディスク名の消去を確定します。“Complete”が表示されます。
 (本体)  (リモコン) |
| 6 | イジェクトボタンを押して、TOC情報をディスクへ書き込みます。
 (本体)  (リモコン)
TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。
電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。
停止中にストップボタン(■)を押す。 |
| 消去を止めるときは、操作5の前にストップボタンまたはクリアーボタンを押してください。
 (本体)  (リモコン) または  (リモコン) | |

編集のしかた(つづき)

(4) 最後におこなった編集内容を取り消す

『^{アンドゥ}UNDO機能』

最後におこなった編集内容を取り消し、その前の内容に戻すことができます。
誤って編集をおこなったときに便利です。



2 つづき	<p>編集操作をしていないときや編集操作をしていても『^{アンドゥ}UNDO』できないときは、“Undo?”は表示されません。 次のようなときは『UNDO』できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> TOC情報の書き替えをおこなったとき 新たな録音や編集をおこなったとき 停電したとき 『^{アンドゥ}UNDO』をおこなったとき 停止中以外にネームを入力したとき <p>グループ登録したディスクでは次のときに『^{アンドゥ}UNDO』できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての曲を消去したとき すべての曲名、ディスク名を消去したとき 曲名を編集したとき
3	<p>エンターボタンを押します。</p> <p>“Undo OK?”と確認のメッセージが表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p style="text-align: center;">(本体) (リモコン)</p>
4	<p>エンターボタンを押して、編集内容の取り消しを確定します。</p> <p>“Complete”が表示されます。</p>
5	<p>イジェクトボタンを押して、TOC情報をディスクへ書き込みます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p style="text-align: center;">(本体) (リモコン)</p> <p>TOC情報を書き込み、ディスクを排出します。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。正しく記録されない場合があります。TOC情報の書き込みは、次の操作でもおこなうことができます。</p> <p>電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする。</p> <p>停止中にストップボタン(■)を押す。</p>
	<p>1つ前の状態に戻したいときは、クリアーボタンを押してください。</p> <p>編集内容の取り消しを止めるときは、操作5の前にストップボタンまたはクリアーボタンを押してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p style="text-align: center;">(本体) (リモコン) または (リモコン)</p>

1	<p>停止中にエディットボタンを押します。</p> <p>“Edit Mode”が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p style="text-align: center;">(本体) (リモコン)</p>
2	<p>本体のジョグダイヤルを回すか、リモコンのオートマチックサーチボタンを押して“Undo?”を表示させます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p style="text-align: center;">(本体) (リモコン)</p> <p>最後におこなった編集操作に応じて、次のメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲名やディスク名を入力・変更した場合 “Name Undo?” 曲名、ディスク名、1曲、全曲、1曲中の一部分を消去した場合 “Erase Undo?” 分割した場合 “Divide Undo?” 結合した場合 “Combine Undo?” 移動、プログラム移動した場合 “Move Undo?” <p>が表示されます。</p>

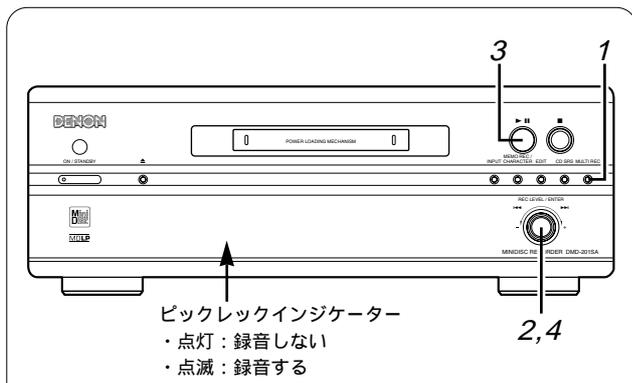
16 ピックレック機能について

ピックアップ機能は本機をピックアップモードにすることにより、CDやチューナーなどで曲を聞きながら曲の途中で録音操作をおこなえる機能です。

ピックアップ機能で録音できるのは、ピックアップモードにして、ピックアップをはじめたときからの内容です。曲の途中でピックアップモードにしたときは、その曲の先頭から録音することはできません。

(1) ピックレックのはじめかた

「録音のしかた」(24~26ページ)により、あらかじめ本機の入力などを設定してから次の操作をおこなってください。



1	<p>録音ボタンを続けて2回押します。 “Pick Rec”が表示されます。 ピックアップインジケータが点滅し、ピックアップ一時停止状態になります。</p>	
2	<p>ジョグダイヤルを回して録音レベルを調整します。 レベルメータが“OVER”表示まで点灯しないように調整してください。 設定された録音レベルは記憶されますが、2、3日間通電していない状態が続くと、データが消去される場合があります。</p>	
3	<p>プレイ/ポーズボタンを押します。 ピックアップインジケータが点灯します。 約2秒後、ディスプレイにはピックアップ可能時間が表示されます。 ここからピックアップモードになり、ピックアップ可能時間がなくなるまで、以下の操作が可能です。</p>	
4	<p>〔ピックアップ中の曲番を録音したいとき〕 その曲番の再生が終わるまでにエンターボタンを押します。 ピックアップインジケータが点滅し、その曲番を録音します。 曲番が変わると、ピックアップインジケータが点灯に変わり、その曲番は録音されません。</p>	

ピックアップ中の曲番を録音しなくてもよいとき

5

何も操作しなければ、その曲番は録音されません。
ピックアップインジケータが点灯している曲番は録音されません。

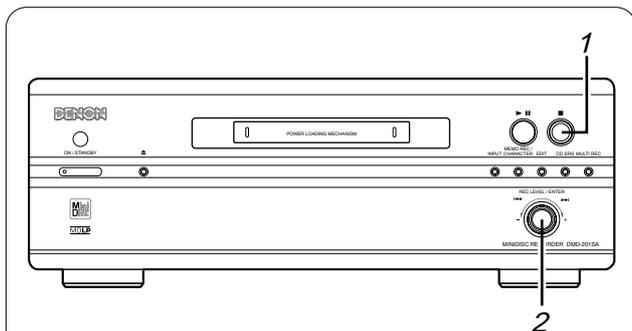
曲の途中で操作1がおこなわれたときは、その曲をはじめから録音することができません。
アナログ入力やCDやMD以外の機器からのデジタル入力でもピックアップをおこなっている場合、曲の途中で曲番が変わる場合があります。録音したい曲番は、すべて操作4をおこなってください。
操作4でエンターボタンを押した後、録音が不要になった場合は、その曲番の録音中にもう一度エンターボタンを押してください。ピックアップインジケータが点灯に変わり、録音を取り消します。

ピックアップ可能時間について

ピックアップをはじめてからのピックアップ可能時間は、録音用ディスクの録音可能時間になります。できるだけ長時間録音できるディスクを使用するとともに、ピックアップ中はディスプレイの可能時間表示を確認し、残り時間に注意してください。
ピックアップ可能時間がなくなったときには自動的に停止します。この場合は「(2)ピックアップの止めかた」により、ディスクへの書き込みを完了させてください。
また、ピックアップ可能時間が残っていても、ピックアップをはじめてからの曲番が35を超えるとピックアップインジケータが2回点滅表示になります。ピックアップインジケータがこの表示になった後は録音する/しないの選択ができませんので、一度ピックアップを止めて、ディスクへの書き込みを完了させて再度ピックアップをはじめてください。

ピックアップ機能について(つづき)

(2) ピックレックの止めかた



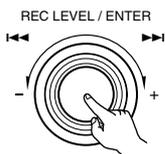
1

ストップボタンを押します。
録音が停止し、ピックアップインジケータが消灯します。
“P. Rec OK?” が表示され、TOC情報の書き込みがおこなわれます。
また、ピックアップ可能時間がなくなったときには自動的に停止し、“P. Rec OK?” が表示されます。



2

〔録音する曲の選択がうまくいったとき〕
エンターボタンを押します。
“P. Rec Edit” が表示されます。
ピックアップ中にエンターボタンを押して、『録音する』を選択した曲番のみをディスク内に整理します。
この表示の間は、別の操作をおこなわないでください。記録された内容が損なわれたり、正しく記録されない場合があります。
“P. Rec Edit” の表示が消灯すると、自動的にTOC情報の書き込みがおこなわれます。



3

〔録音する曲の選択がうまくできなかったとき〕
ストップボタンを押します。
“P. Rec Cancel” が表示されます。
ピックアップをはじめてから再生された曲番すべてがディスクに記録されます。



ピックアップ中に本体の電源ボタン (ON/STANDBY) でスタンバイ状態にした場合は、ピックアップをはじめてから再生された曲すべてがディスクに記録されます。ピックアップをはじめてから数秒で止めた場合でも“P. Rec OK?” が表示されますが、1曲も録音されていないことがあります。

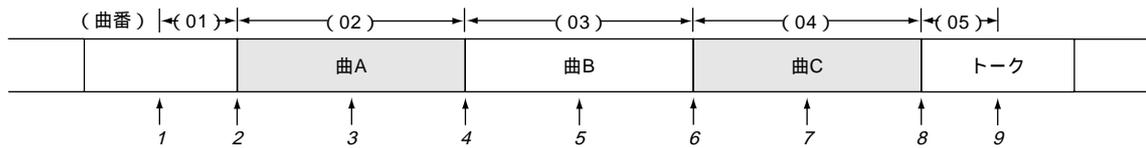
TOC情報書き込み時のご注意

録音終了後、TOC情報の書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音や編集された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

ピックアップ機能について(つづき)

(3) ピックレックの使用例

音楽番組をピックアップする例を説明します。(空白ディスクを使用)



1	51ページの操作1をおこなって、ピックアップをはじめます。(曲番: 01) ピックアップインジケータが点灯します。	
2	曲番が変わります。(曲番: 02) ピックアップインジケータは点灯のままです。	
3	〔曲Aは録音したい!〕 エンターボタンを押します。 ピックアップインジケータが点滅表示に変わります。	
4	曲番が変わります。(曲番: 03) ピックアップインジケータが点灯に変わります。	
5	〔曲Bは録音しなくてよい〕 何も操作は不要です。 ピックアップインジケータは点灯のままです。	
6	曲番が変わります。(曲番: 04) ピックアップインジケータは点灯のままです。	
7	〔曲Cは録音したい!〕 エンターボタンを押します。 ピックアップインジケータが点滅表示に変わります。	
8	曲番が変わります。(曲番: 05) ピックアップインジケータは点灯に変わります。	
9	曲の放送が終了したので、52ページの操作1、2をおこなってピックアップを止めます。 ディスクには、曲Aと曲Cだけが録音されます。 曲番は曲Aが01、曲Cが02に編集されます。	

ご注意

アナログ入力の場合、左記の操作2、4、6、8で約3秒以上の無音部がないと自動的に曲番が変わりません。ピックアップ中に28ページの「(1) 録音中に曲番をつけたいとき」の操作で、手動で曲番をつけて操作することもできます。うまく曲番がつけられなかった場合は、ピックアップ終了後52ページの「(2) ピックレックの止めかた」の操作2で全曲を残し、完了させてから40ページの「曲を分割するには」、37ページの「1曲消去のしかた」を参照して分割と消去をおこなってください。

録音終了時および“P. Rec Edit”表示終了時は、自動的にTOC情報の書き込みをおこないません。

TOC情報書き込み時のご注意

録音終了後、TOC情報の書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音や編集された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

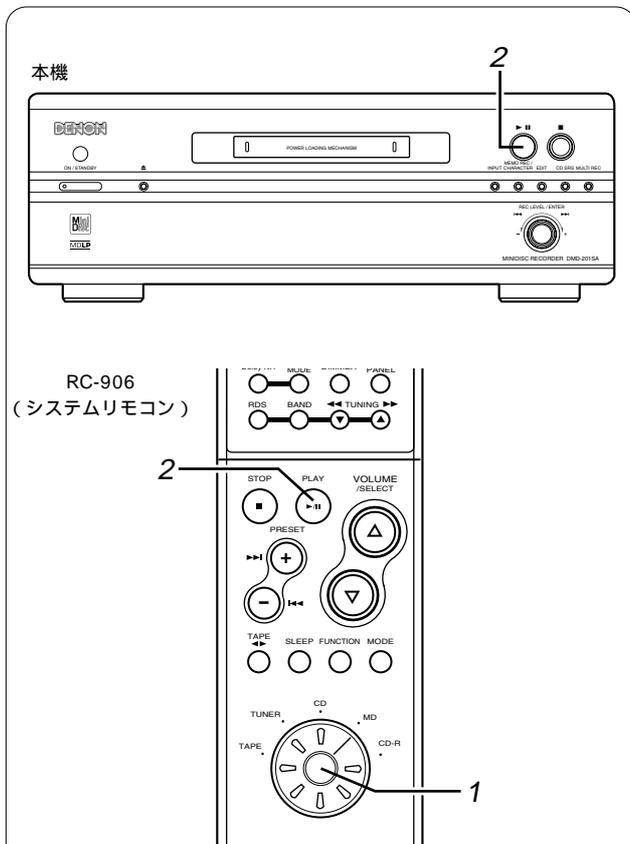
17 システム機能について

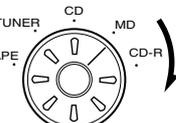
(1) システム接続について

本機をPRESTA-201SAシリーズとシステム接続をすると、便利なシステム機能が働きます。(接続のしかたはプリメインアンプ(PMA-201SA)またはレシーバー(DRA-201SA)の取扱説明書を参照してください。)各機器を操作するシステム機能の信号は、すべてプリメインアンプ(PMA-201SA)またはレシーバー(DRA-201SA)から出力されます。従って、システム接続するときは必ずプリメインアンプ(PMA-201SA)またはレシーバー(DRA-201SA)を接続してください。システム機能が働くのは、PRESTA-201SAシリーズの機器を接続したときのみです。それ以外の機器を接続してもシステム機能は働きません。

(2) オートパワーオン機能 (PRESTA-201SAシリーズシステム接続時)

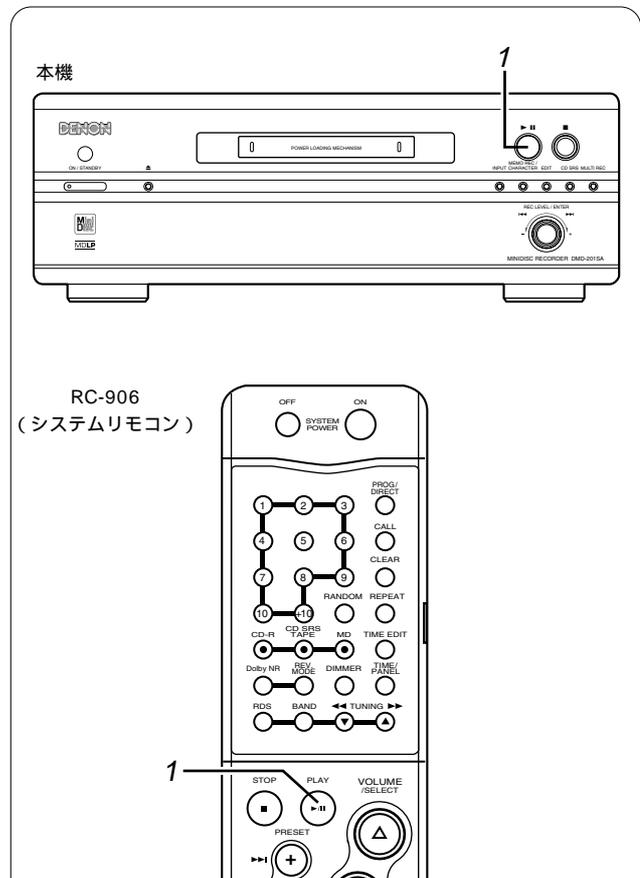
システム全体がスタンバイ状態のときに、本体またはリモコンのプレイ/ポーズボタン(▶/⏸)を押すだけでMDの再生をおこなうことができます。

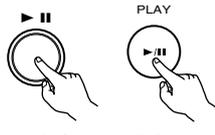


1	<p>リモコンファンクション切り替えスイッチを『MD』に合わせます。</p> 
2	<p>プレイ/ポーズボタンを押します。システムの電源が入り、プリメインアンプのファンクションが自動的に『MD』に切り替わります。その後、MDが装着されている場合はMDの再生をはじめます。</p>  <p>(本機) PLAY (RC-906)</p>

(3) オートファンクション機能 (PRESTA-201SAシリーズシステム接続時)

ボタン1つの操作でファンクションを『MD』に切り替えて、MDの再生をおこなうことができます。



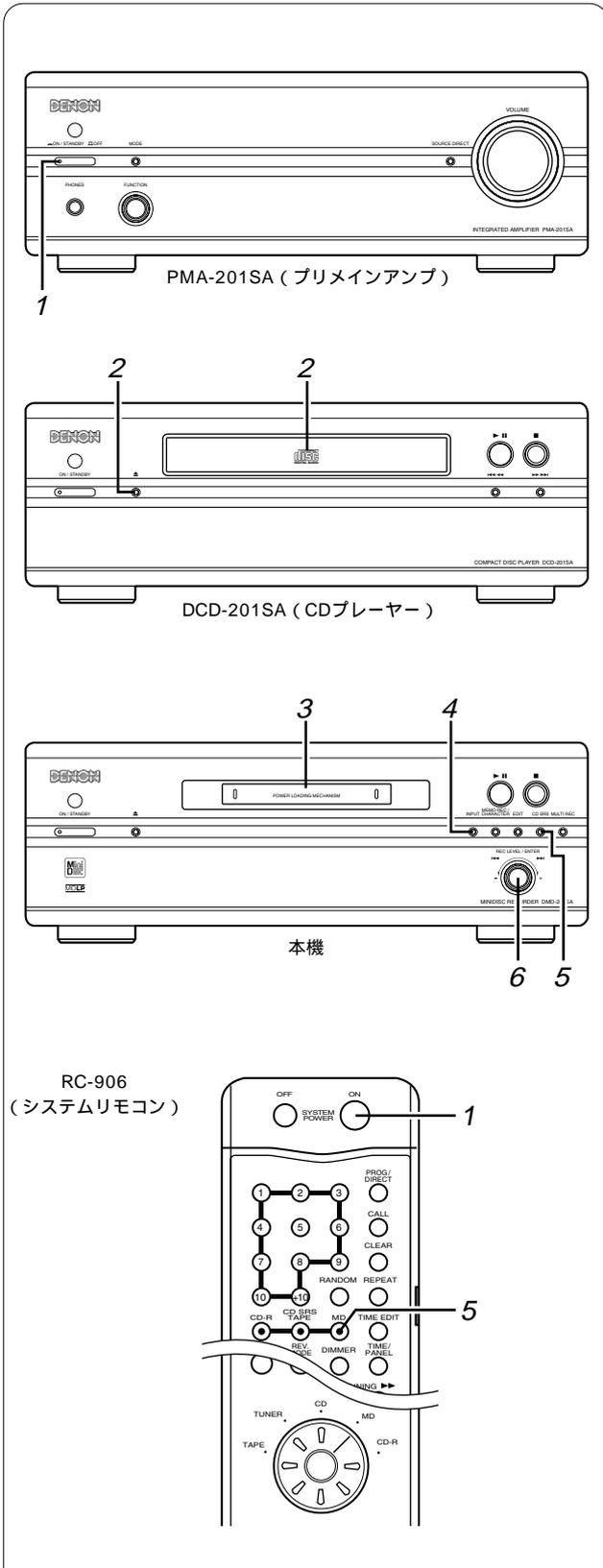
1	<p>本機以外の機器(CDプレーヤー、CDレコーダー、カセットデッキ)の再生中にプレイ/ポーズボタンを押します。再生中の機器の再生が停止します。同時にプリメインアンプのファンクションが『MD』に切り替わり、MDの再生をはじめます。システムリモコンで操作する場合はリモコンのファンクション切り替えスイッチを回して、ファンクションを『MD』にしてからおこなってください。</p>  <p>(本機) (RC-906)</p>
---	--

システム機能について(つづき)

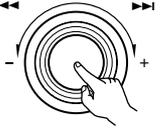
(4) CDシンクロ録音機能 (PMA-201SA,本機,DCD-201SA接続時)

CDを簡単に録音することができます。

CDプレーヤー (DCD-201SA) のデジタル出力を本機のデジタル入力1に接続し、デジタル録音します。



1 プリメインアンプの電源を入れます。システムの電源が入ります。
 (PMA-201SA) (RC-906)

- | | | |
|----------|--|--|
| 2 | CDプレーヤーのディスクホルダーに録音したいCDを装着します。
(DCD-201SA) |  |
| 3 | 本機のディスク挿入口に録音するディスクを入れます。 | |
| 4 | 本機の入力切り替えボタンを押して、『Optical-1』に切り替えます。
(本機) |  |
| 5 | 本機のCDシンクロ録音ボタンを押して、シンクロ録音モードを選びます。ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。
SRS1disc Rec?: 1枚のCDをすべて録音します。
SRS Make Gr?: 1枚のCDをすべて録音し自動的に1つのグループとして登録されます。
SRS1stTr Rec?: CDの最初の1曲のみを録音します。 |  
(本機) (RC-906) |
| 6 | 本機のエンターボタンを押します。自動的にCDの録音をはじめます。CDに収録されているすべての曲の再生が終わったとき、およびCDの再生が終わらないうちにディスク一杯に録音されたとき、本機とCDプレーヤーは自動的に停止します。 | 
(本体) |
| | 途中で録音を止めるときは、本機またはCDプレーヤーのストップボタンを押して、CDの再生を停止させてください。TOC情報の書き込みがおこなわれます。 |  
(本機)または (RC-906)
(DCD-201SA) |

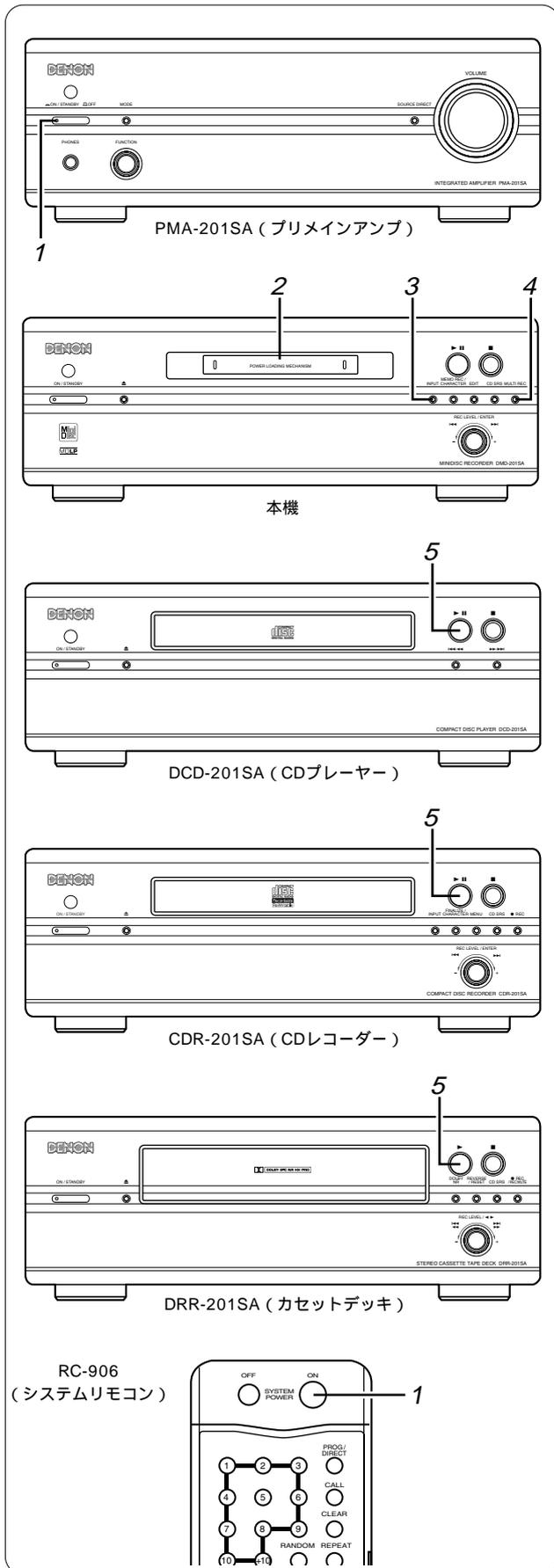
ご注意

CDプレーヤーがプログラム再生モードのときは動作しませんので、プログラムを解除してください。また、ランダム再生モード、リピート再生モードのときはそれぞれのモードを解除して動作します。録音終了後、TOC情報の書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音や編集された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。編集をおこなった後、TOCの記録をおこなわないと“Write UTOC”が表示され、録音モードには入れません。

システム機能について(つづき)

(5) 同期録音機能 (PMA-201SA, 本機, DCD-201SA, DRR-201SA, CDR-201SA接続時)

本機を録音一時停止状態にして、CDプレーヤーまたはCDレコーダーのプレイ/ポーズボタン(▶/||)、およびカセットデッキのプレイボタン(▶)を押すと自動的に録音をはじめます。



- 1 プリメインアンプの電源を入れます。
システムの電源が入ります。

(PMA-201SA) (RC-906)
 - 2 本機のディスク挿入口に録音するディスクを入れます。
 - 3 本機の入力切り替えボタンを押して、録音したい機器が接続されている端子を選びます。

(本機)
 - 4 本機の録音ボタンを1回押して、録音一時停止状態にします。

(本機)
 - 5 CDプレーヤーまたはCDレコーダーのプレイ/ポーズボタンおよびカセットデッキのプレイボタンを押します。

(DCD-201SA) (CDR-201SA) (DRR-201SA)

自動的に録音をはじめます。
CDプレーヤー、CDレコーダーまたはカセットデッキの再生が終わると、本機は自動的に録音一時停止状態になります。
- 途中で録音を止めるときは、CDプレーヤー、CDレコーダーまたはカセットデッキのストップボタンを押して、ディスクまたはカセットテープの再生を停止させてください。本機は録音一時停止状態になります。
-
- (DCD-201SA) (CDR-201SA) (DRR-201SA)
- 録音を止めるときは、本機のストップボタンを押してください。TOC情報の書き込みがおこなわれます。
-
- (本機)

ご注意

録音終了後、TOC情報の書き込みをはじめると“**TOC**”表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音や編集された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。

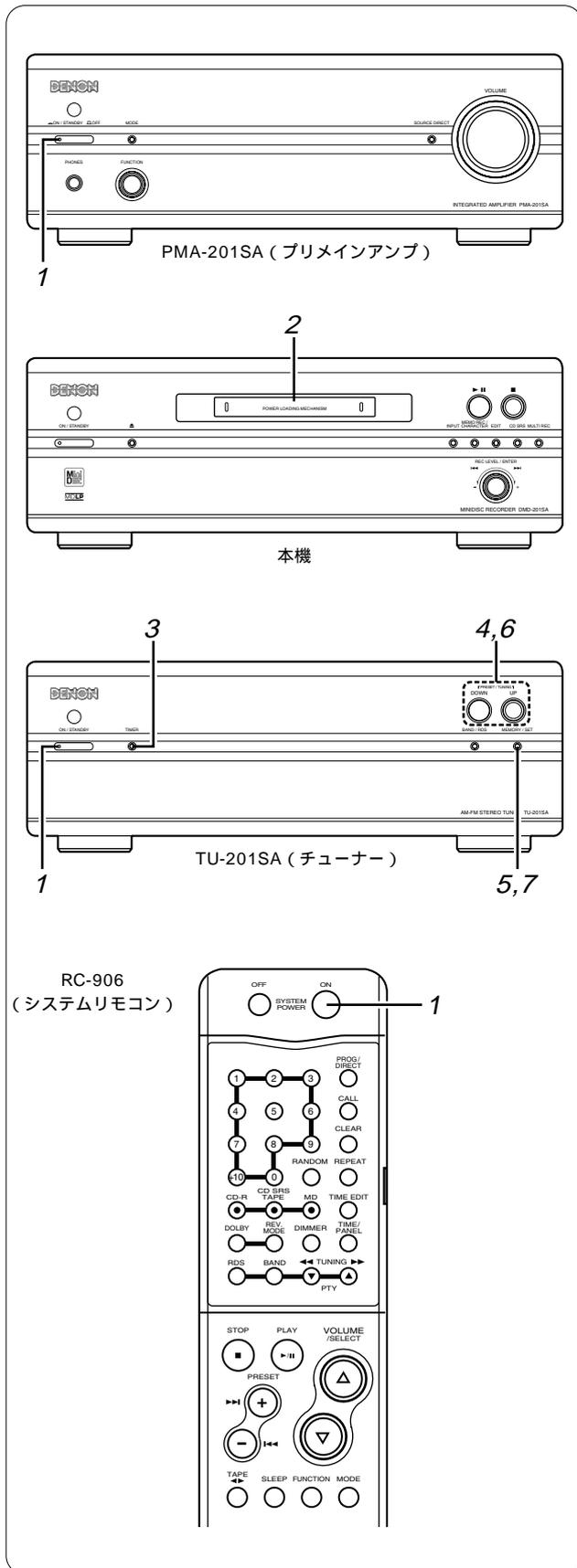
編集をおこなった後、TOCの記録をおこなわないと“Write UTDC”が表示され、録音モードには入れません。

システム機能について(つづき)

(6) タイマー再生機能 (PMA-201SA, 本機, TU-201SA接続時)

チューナー (TU-201SA) のタイマー機能を使用して、設定された時間に再生やラジオ放送の留守録音 (AIR CHECK) をおこなうことができます。

1 タイマー再生をおこなうには



<p>1</p>	<p>プリメインアンプとチューナーの電源を入れます。 システムの電源が入ります。</p> <p>(PMA-201SA) (TU-201SA) (RC-906)</p>
<p>2</p>	<p>本機のディスク挿入口にタイマー再生をおこなうディスクを入れます。</p>
<p>3</p>	<p>チューナーのタイマーボタンを3秒以上押しします。 “EVERYDAY”が表示されます。 時刻が設定されていない場合は、“TIME”が表示されます。チューナー (TU-201SA) に付属されている取扱説明書の18、19ページの操作3~7をおこなってから、もう一度タイマー予約をおこなってください。</p> <p>(TU-201SA)</p>
<p>4</p>	<p>チューナーのプリセット/チューニングボタンを押して、設定するタイマー“EVERYDAY”または“ONCE”を表示させます。</p> <p>(TU-201SA)</p>
<p>5</p>	<p>チューナーのメモリー/セットボタンを押します。 タイマー予約モードのファンクション設定状態になります。</p> <p>(TU-201SA)</p> <p>【例】エブリディタイマーを選択した場合</p>
<p>6</p>	<p>チューナーのプリセット/チューニングボタンを押して、タイマー再生するファンクションソースに切り替えます。</p> <p>(TU-201SA)</p>
<p>7</p>	<p>チューナーのメモリー/セットボタンを押します。 タイマーのファンクションがメモリーされます。</p> <p>(TU-201SA)</p>
<p>8</p>	<p>以下の操作は、チューナー (TU-201SA) に付属されている取扱説明書の「タイマーの予約のしかた」を参照してください。</p>

システム機能について(つづき)

2 ラジオ放送を留守録音するには

1 PMA-201SA (プリメインアンプ)

2 本機

3 本機

4 本機

5 本機

6,8 本機

7,9 本機

RC-906 (システムリモコン)

1

1 プリメインアンプとチューナーの電源を入れます。
システムの電源が入ります。

2 本機のディスク挿入口にタイマー録音をおこなうディスクを入れます。

3 本機の入力切り替えボタンを押して『Analog』に切り替えます。

- | | | |
|----|---|--------------------------------|
| 4 | 本機のジョグダイヤルを回して録音レベルを調整します。
「録音のはじめかた」(24ページ)を参照してください。 |
(本機) |
| 5 | チューナーのタイマーボタンを3秒以上押します。
「EVERYDAY」が表示されます。
(TU-201SA) |
TIMER |
| 6 | チューナーのプリセット/チューニングボタンを押して、設定するタイマー「EVERYDAY」または「ONCE」を表示させます。 |
(TU-201SA) |
| 7 | チューナーのメモリー/セットボタンを押します。
タイマー予約モードのファンクション設定状態になります。
【例】エブリディタイマーを選択した場合 |
MEMORY / SET
(TU-201SA) |
| 8 | チューナーのプリセット/チューニングボタンを押して、ファンクションを『AIRCH MD』に切り替えます。 |
(TU-201SA) |
| 9 | チューナーのメモリー/セットボタンを押します。
タイマーのファンクションがメモリーされます。
(TU-201SA) |
MEMORY / SET
(TU-201SA) |
| 10 | 以下の操作は、チューナー (TU-201SA) に付属されている取扱説明書の「タイマーの予約のしかた」を参照してください。 | |

ご注意

録音終了後、TOC情報の書き込みを始めるると「TOC」表示が点滅しますので、このとき本機に振動を与えたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。録音や編集された内容が損なわれたり、正しく記録されないことがあります。編集をおこなった後、TOCの記録をおこなわないと「Write UTOC」が表示され、録音モードには入れません。

システム機能について(つづき)

(7) システム接続をしないで使用する場合

システム機能について

オートファンクション機能、CDシンクロ録音機能、同期録音機能、タイマー再生/録音機能などのシステム機能を使用することはできません。

リモコンについて

システム接続をしないで本機をリモコン操作する場合には、本機に付属のリモコン(RC-267)を使用してください。

オートレックポーズ機能について

本機をシステム接続をしないで使用した場合、ブランクディスク(録音されていないディスク)およびノートラックディスク(ディスク名のみ記録されたディスク)を入れると、自動的に録音一時停止状態になります。プレイ/ポーズボタン(▶/||)を押すだけで録音を開始することができます。これらのディスクが入っている状態で電源を入れた場合も、オートレックポーズ機能が働きます。

18 ミニディスクの規格上の制約について

ミニディスクの規格は、カセットデッキなどの従来の録音方式と異なる方式でおこなわれます。そのため、いくつかの規格上の制約があります。次のような現象が出ても故障ではありませんので、ご了承ください。

(1) 曲数の制約

何も録音されていないディスクやディスク名のみだけで何も録音されていないディスクに、1曲目から順次録音した場合は最大255曲まで録音できます。しかし、編集を多く繰り返したりすると、255曲まで録音できなくなることがあります。デジタル録音のとき、エンファシス情報などの入切が多いと曲の区切りと同じ扱い(曲番は変わらない)になり、録音時間や曲数に関わらず録音できなくなることがあります。

(2) 編集機能の制約

編集をおこなってできた短い曲を結合できない場合があります。録音や編集を繰り返したディスクでは、マニュアルサーチ中に音が途切れることがあります。

(3) 録音機能の制約

ディスクの最大録音時間に達しなくても、曲数が255になるとこれ以上録音できません。録音は約2秒単位でおこなわれます。それに満たない部分でも約2秒間分のディスクスペースを使用しますので、実際に録音できる時間は短くなります。ディスクに傷があるとその部分は録音できませんので、その分の時間が減ります。CDをデジタル録音するとき、CDの録音内容により数秒程度の無音部ができることがあり、曲数がCDと異なることがあります。短い曲を消去してもディスクの残り時間が増えないことがあります。これはディスクの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分を無視するためです。

19 メッセージについて

本機をお使いになられているときの使用状況によりメッセージが表示されます。

《メッセージ表示》	《メッセージの内容》
<i>TOC Reading</i>	TOCを読み込んでいます。
<i>Blank Disc</i>	何も録音されていないディスクが入っています
<i>Complete</i>	編集が完了しました。
<i>Copy Prohibit</i>	SCMS (シリアル・コピー・マネージメント・システム) により、デジタルコピー禁止のソースです。
<i>Dig. Unlock</i>	デジタル録音時にデジタル入力端子の接続が不完全なため、または他の障害により入力信号が正常に入力されていません。(27ページ参照)
<i>Disc Err</i> (は数字や文字です。)	ディスクに傷が付いているため、データが読めません。または、TOCがミニディスクに書き込まれていないか、データに異常があります。
<i>Disc Full</i>	ディスクの残り時間がなくなりました。 トラック数が255曲を超えてしまいました。
<i>Impossible</i>	実行できない操作をおこなっています。
<i>No Name</i>	タイトル文字が入力されていません。
<i>No Track</i>	ディスク名はありますが、曲が入っていません。
<i>Playback Only</i>	再生専用ディスクに録音や編集の操作をおこなっています。
<i>Protected</i>	ディスクが誤録音防止状態になっています。
<i>Name Full</i>	ディスク名、グループ名の合計および曲名がそれぞれ100文字を超えています。 または、ディスク名、グループ名および曲名として入力した文字の合計が約1700文字を超えています。
<i>Tr. Protected</i>	編集できない曲です。
<i>Disc ?</i>	データに異常があります。または、規格外のミニディスクです。
<i>TOC Err</i> (は数字や文字です。)	ディスクに傷が付いているため、TOC情報が読めません。または、規格外のミニディスクです。
<i>Can't Rec</i>	ショックやディスクの傷で正しく録音できませんでした。
<i>Temp Over</i>	温度が高くなり過ぎました。電源を切り、本機の温度が下がるまでしばらくお待ちください。
<i>Defect</i>	ディスクに傷があるため、録音が途切れてしまいました。
<i>Mech Err</i> (は数字や文字です。)	ミニディスクが正しく動作していません。
<i>Not Audio</i>	オーディオ用でないデータが記録されています。
<i>UTOC W Err</i>	ショックやディスクの傷でTOC情報が正しく作成できませんでした。
<i>UTOC Err</i> (は数字や文字です。)	記録されているTOC情報がミニディスクの規格に合っていないか、他の障害により読むことができません。
<i>Focus Err</i>	ディスクに傷があります。または、振動の多い不安定な場所で使用しているため、正常な動作ができません。
<i>Write UTOC</i>	編集をおこなったあとにUTOC書き込みがされていません。
<i>GROUP Over!</i>	グループ数が10を超えています。または、グループ管理情報が制限を超えています。

20 故障かな？と思ったら

故障？ と思っても、もう一度確かめてみましょう

各接続は正しいですか
取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現象	原因	処置	関連ページ
操作できない。	ディスクが入っていますか。 ディスクが損傷または汚れていませんか。	ディスクを入れてください。 他のディスクと取り替えてください。	19 17
再生できない。	接続が間違っていないですか。 ディスクに録音されていますか。 (“ Blank Disc ” または “ No Track ” が表示されます。)	接続を確認してください。 録音されているディスクと取り替えてください。	8、9 60
録音できない。	ディスクが録音防止状態になっていませんか。(“ Protected ” が表示されます。) ディスクの残り時間がありますか。 (“ Disc Full ” が表示されます。) 255曲収録されたディスクに録音しようとしていませんか。 (“ Disc Full ” が表示されます。) デジタル録音したソースをデジタル録音しようとしていませんか。 (SCMS参照) (“ Copy Prohibit ” が表示されます。) 入力切り替えボタン (INPUT) の設定が間違っていないですか。 録音レベル調整つまみ (REC LEVEL) が絞られていませんか。	ディスクの誤録音/誤消去防止ツメをずらして、孔を閉じた状態にしてください。 ディスクを入れ替えてください。 不要な部分があれば消去して録音時間を確保してください。 ディスクを入れ替えてください。 不要な曲があれば消去して録音曲数を確保してください。 アナログ入力録音で録音してください。 録音入力モードを確認してください。 録音レベル調整つまみ (REC LEVEL) を調整してください。	17、60 60 37、38 59、60 37、38 24、25、60 24、26 25、26

21 主な仕様

形	式	ミニディスク デジタル オーディオシステム
ワウ・フラッター		測定限界 (±0.001% W.Peak) 以下
標本化周波数		44.1kHz
録音方式		磁界変調オーバーライト方式
光源		半導体
S/N比		105dB
ダイナミックレンジ		96dB
出力電圧		1.8V
電源		AC100V 50/60Hz
消費電力		14W (電気用品安全法による) (スタンバイ時: 1W以下)
最大外形寸法		250 (幅) × 90 (高さ) × 356 (奥行き) mm (フット、つまみ、端子を含む)
質量		3.1kg
リモコンユニット		RC-267
リモコン方式		赤外線パルス式
電源		DC3V 単3形乾電池2本使用
最大外形寸法		54 (幅) × 155 (高さ) × 29 (奥行き) mm
質量		100g (乾電池を含む)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

本機は国内仕様です。

必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先

(社) 私的録音補償金管理協会

TEL.03 (5353) 0336

MEMO

株式会社 **デノン** コンシューマー マーケティング

本 社 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター TEL : 03 - 6731 - 5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、12 : 45 ~ 17 : 30

(弊社休日および祝日を除く、月 ~ 金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先 (サービスセンター) については、
次の URL でもご確認できます。

<http://denon.jp/info/info02.html>

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名 : 電 話 (- -)

ご購入年月日 : 年 月 日